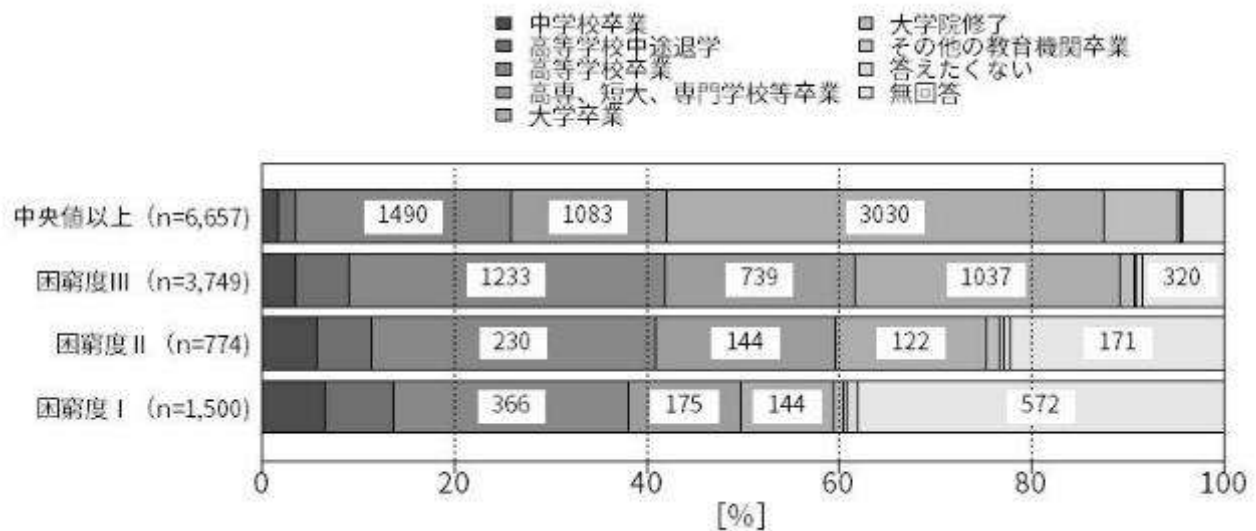


困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

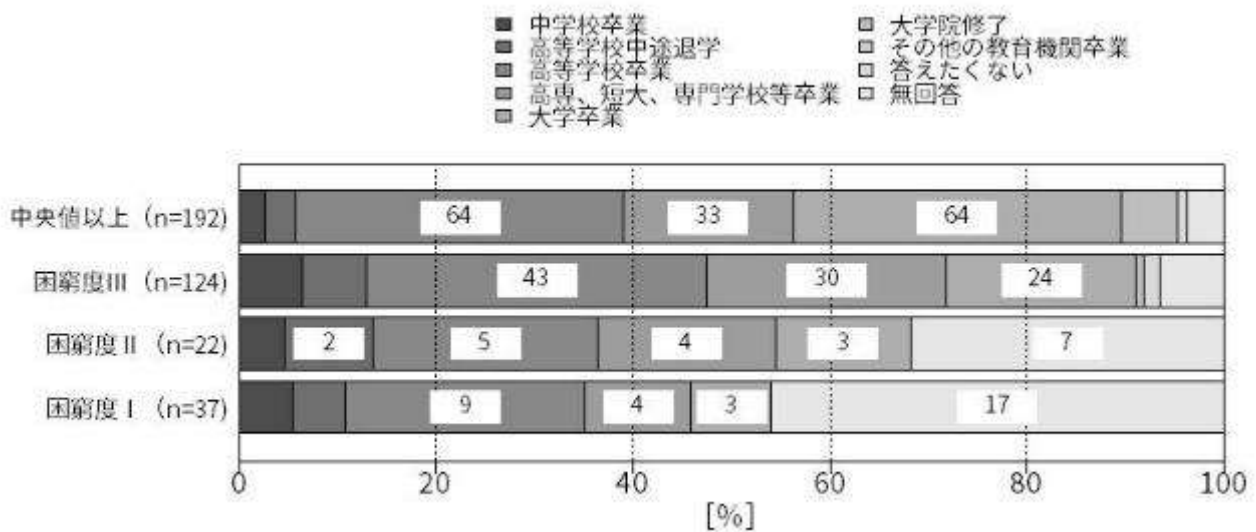
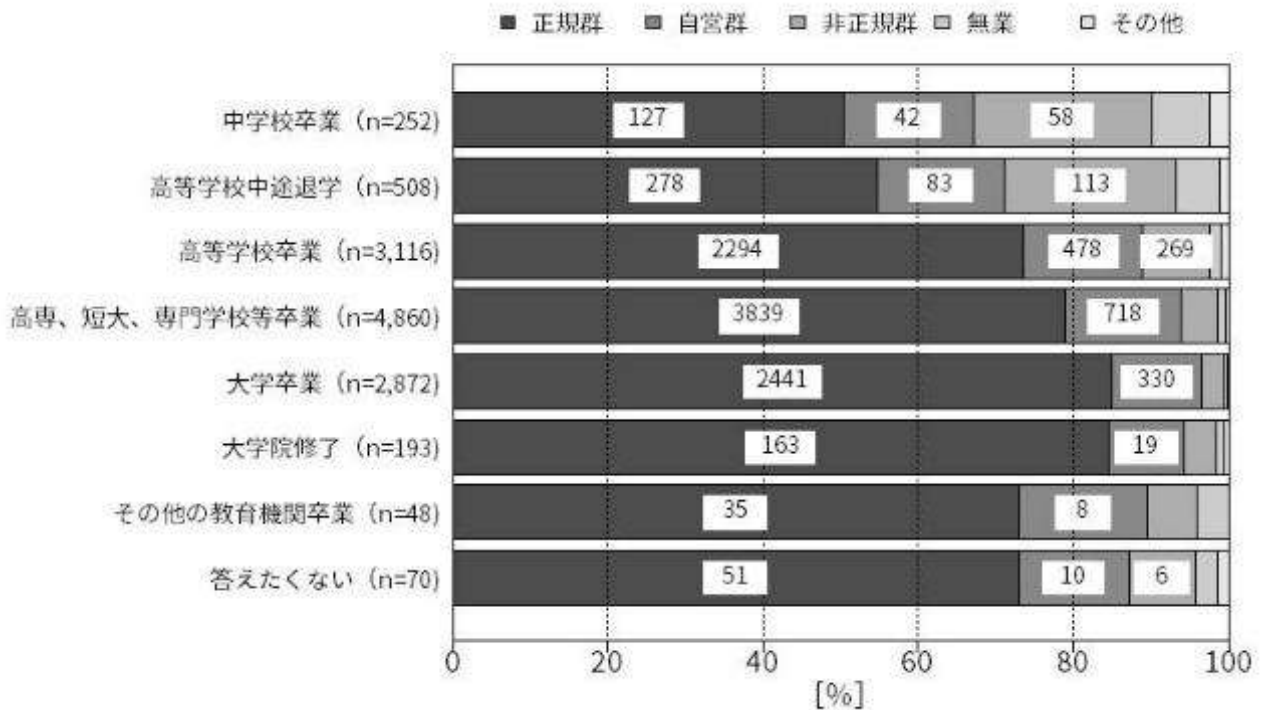


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は 5.4%、「高等学校中途退学」は 5.4%であった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問 7×問 8）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

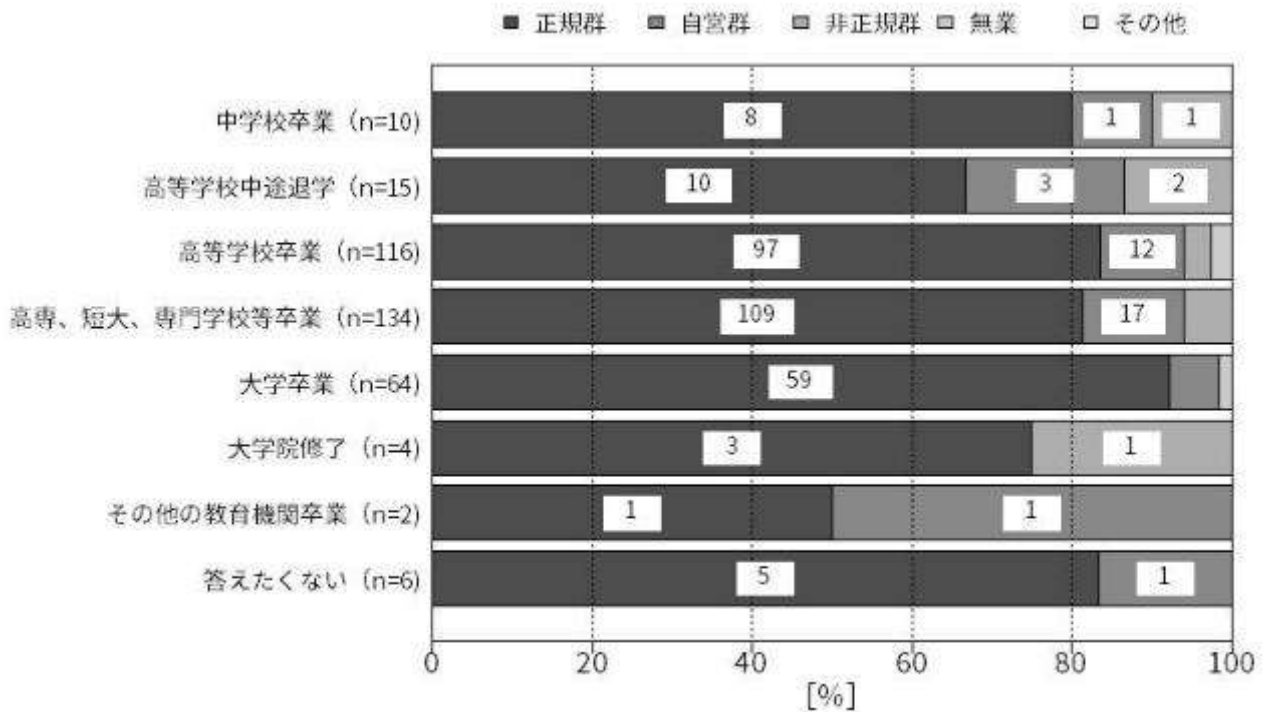
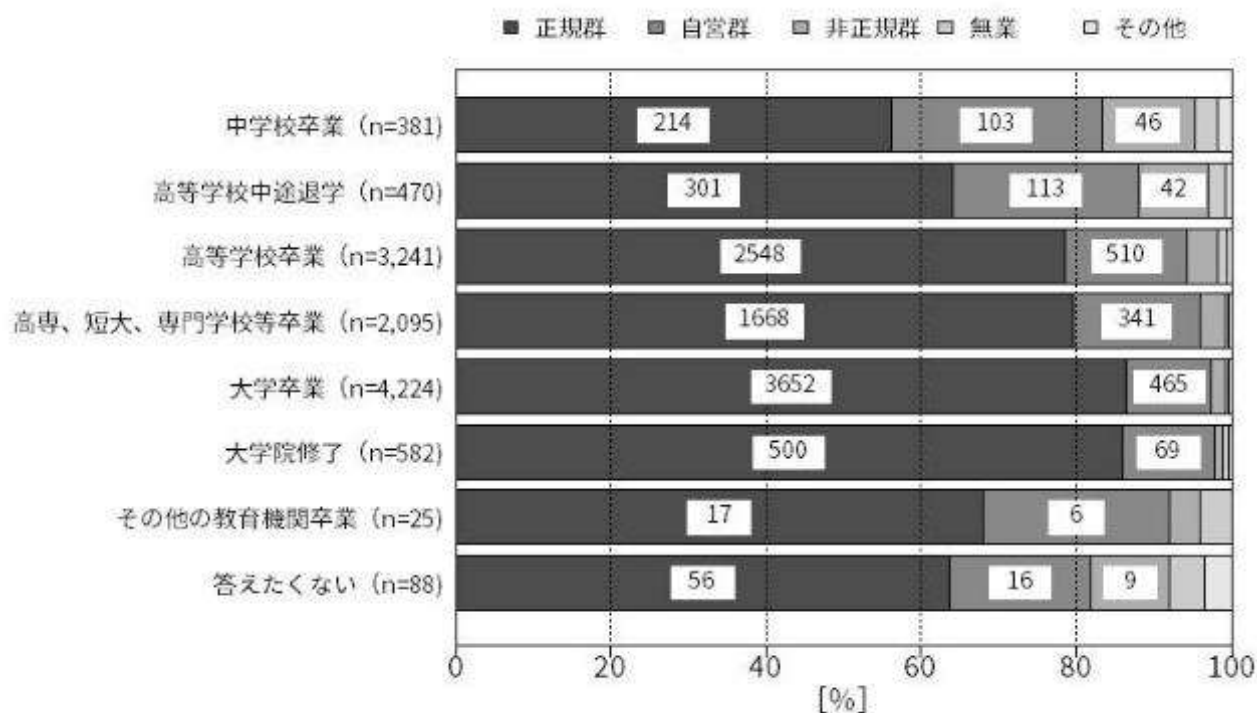


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

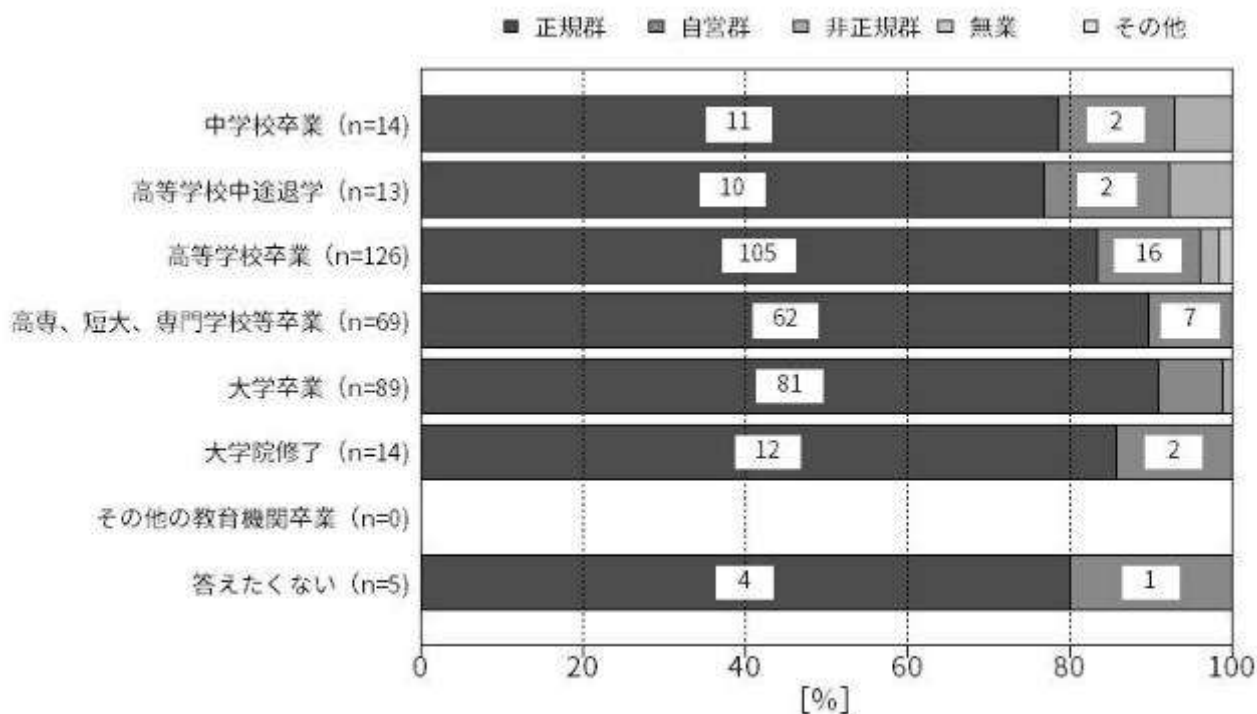
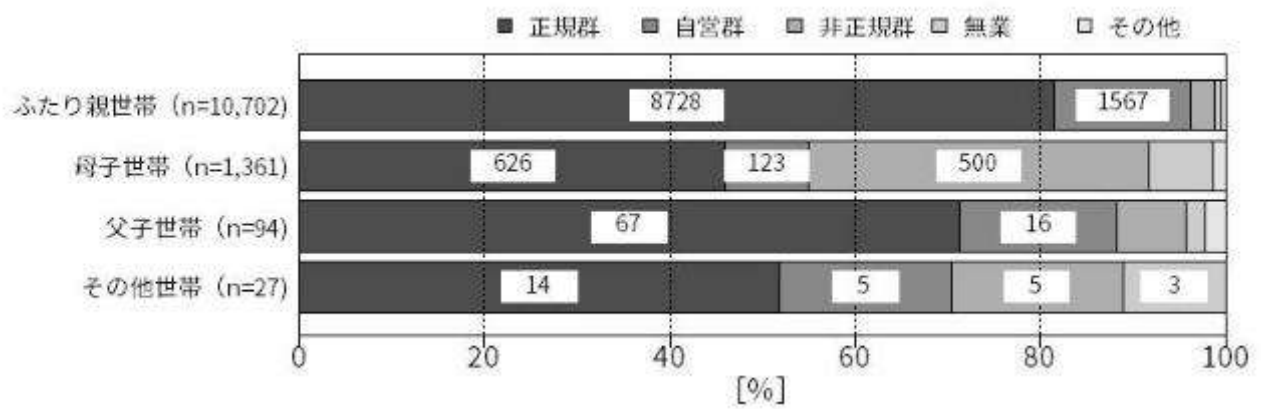


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

中学校卒業では、正規群の割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

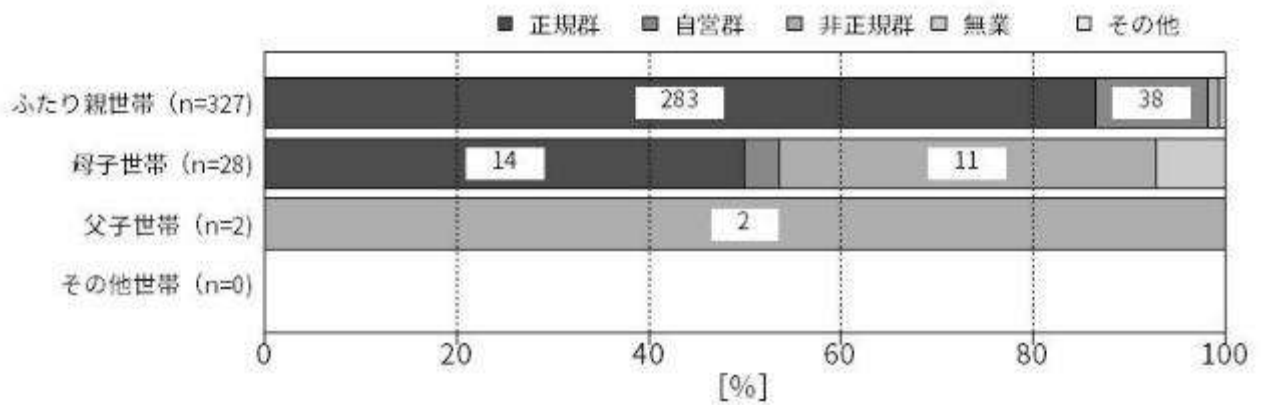
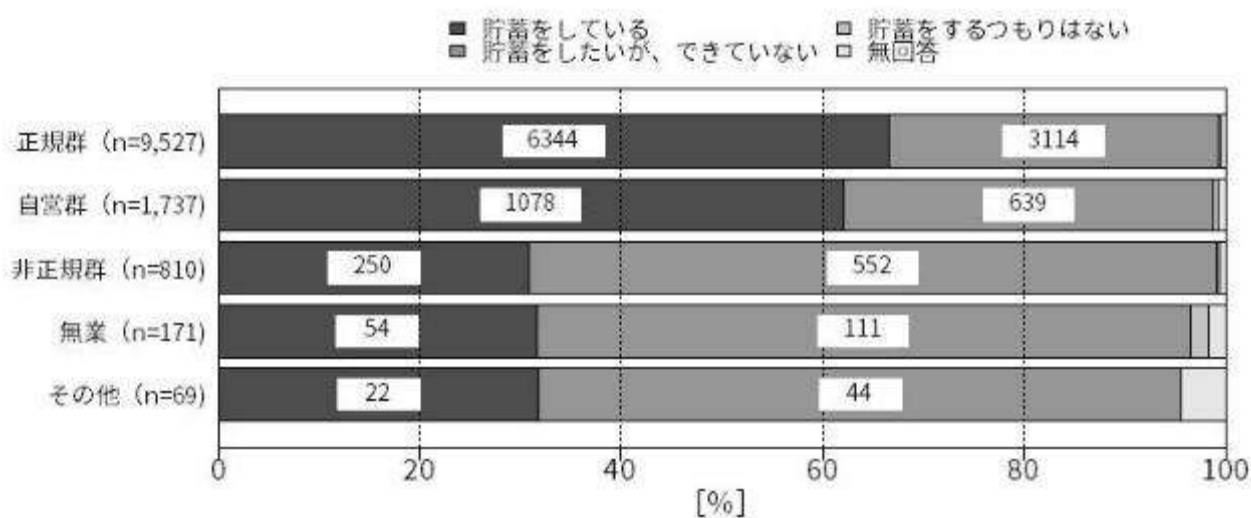


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高かった。母子世帯では、50.0%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問 8×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

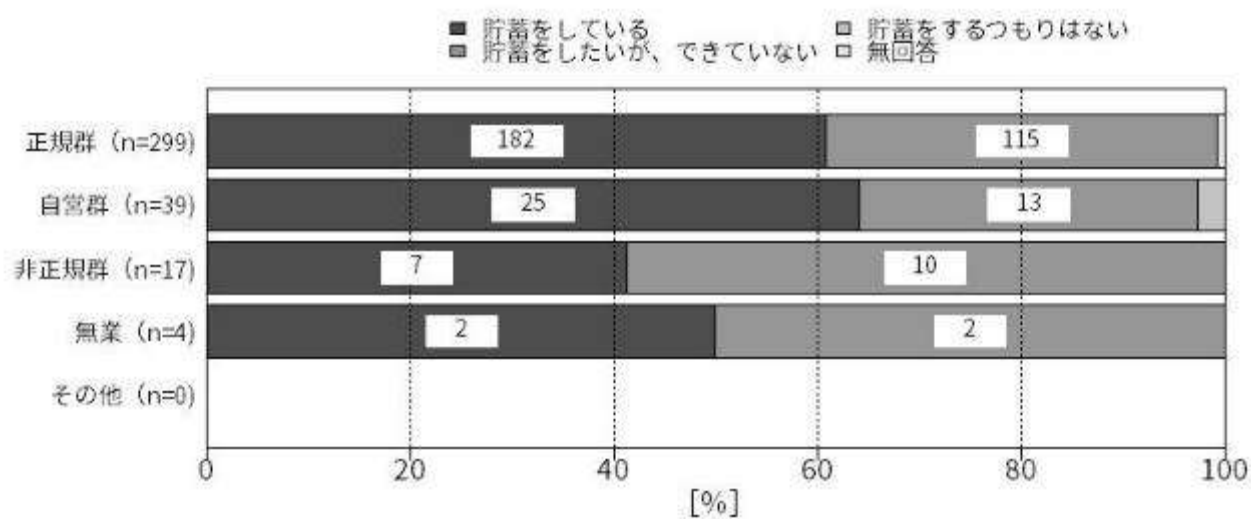
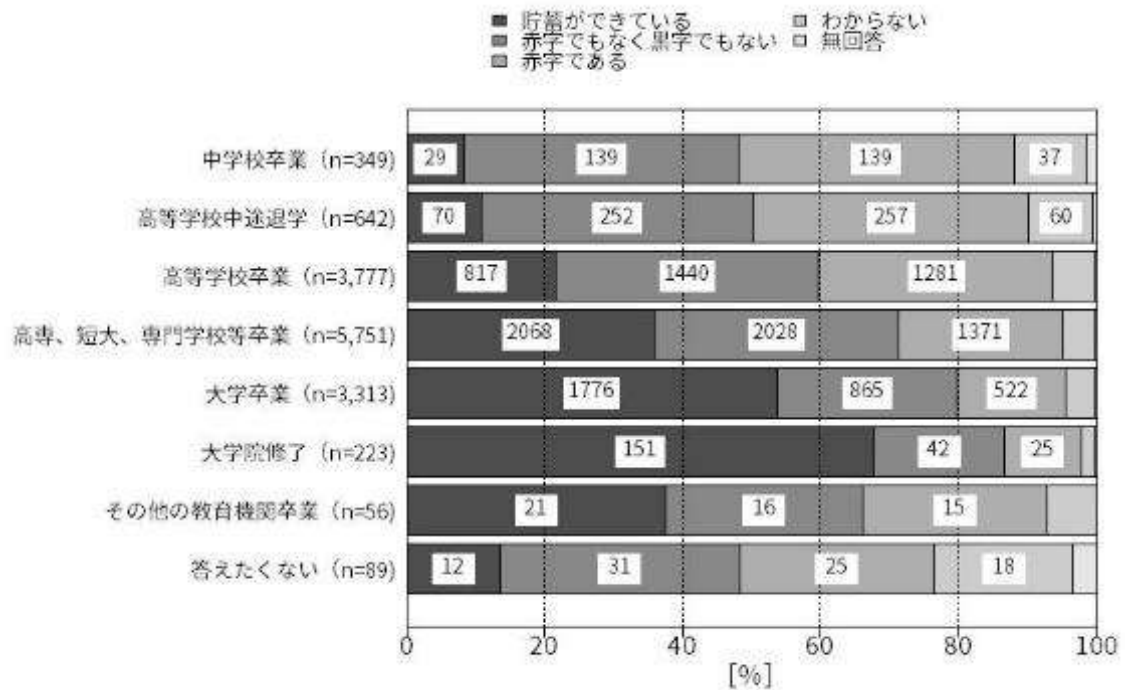


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群・無業では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、それぞれ 41.2%、50.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

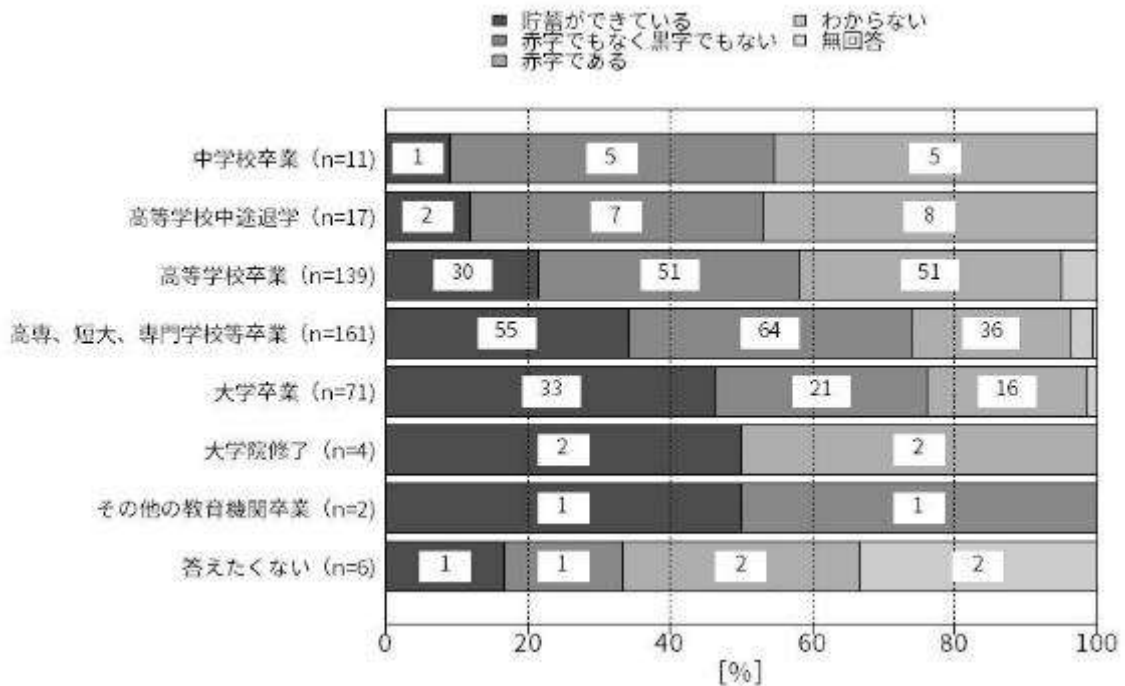
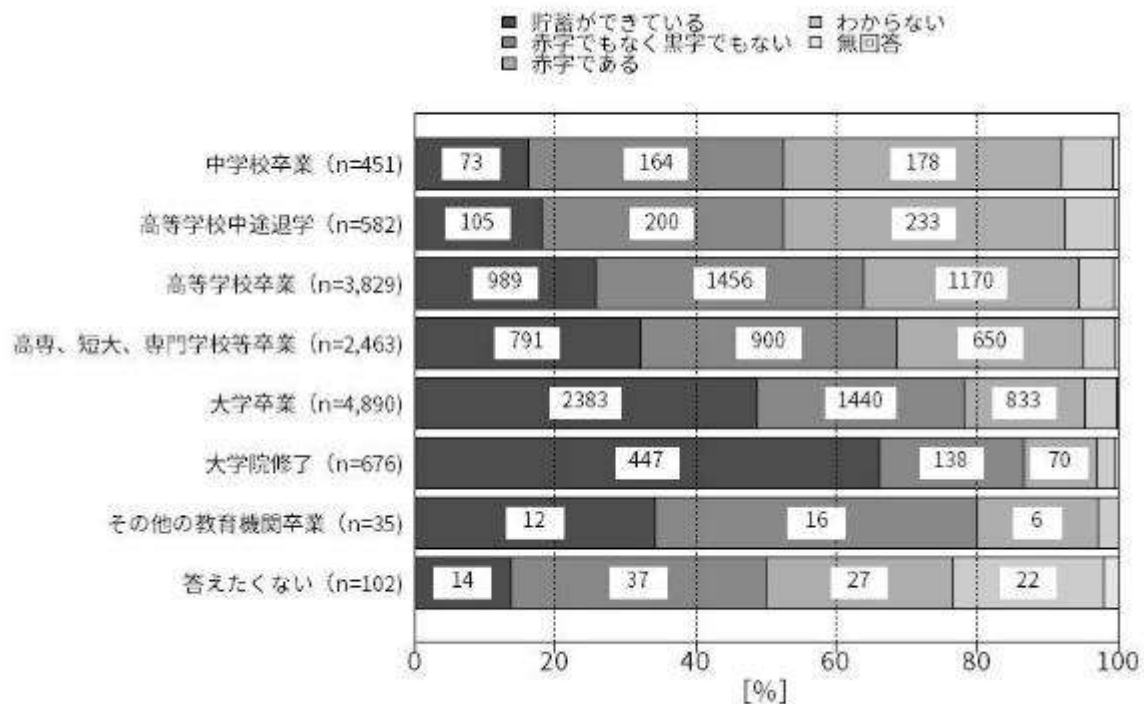


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができていない割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高く、赤字である割合が低くなる。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問7×問5-1）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

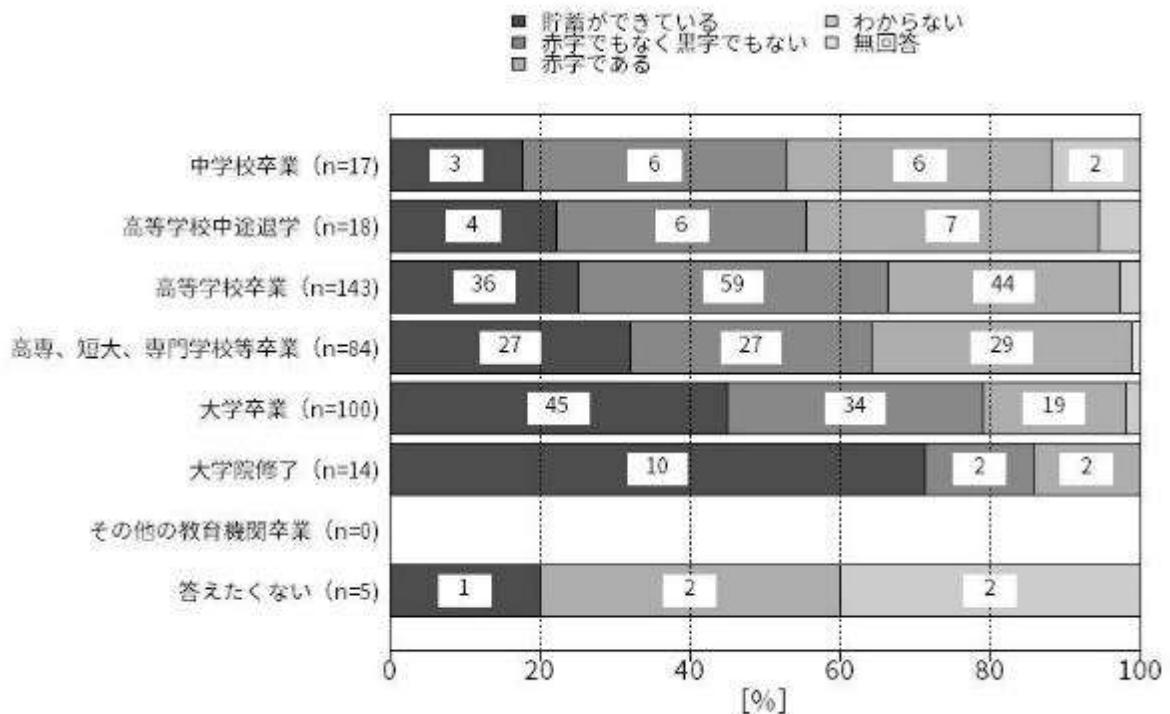
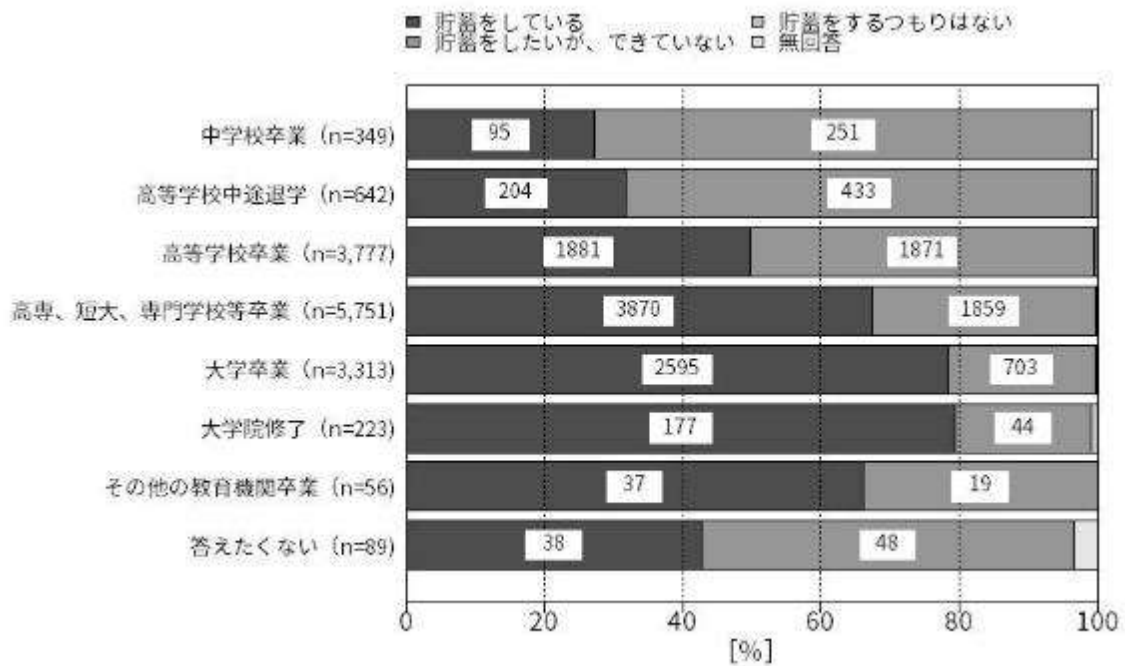


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

中学校卒業、高等学校中途退学では、貯蓄ができている割合が低い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

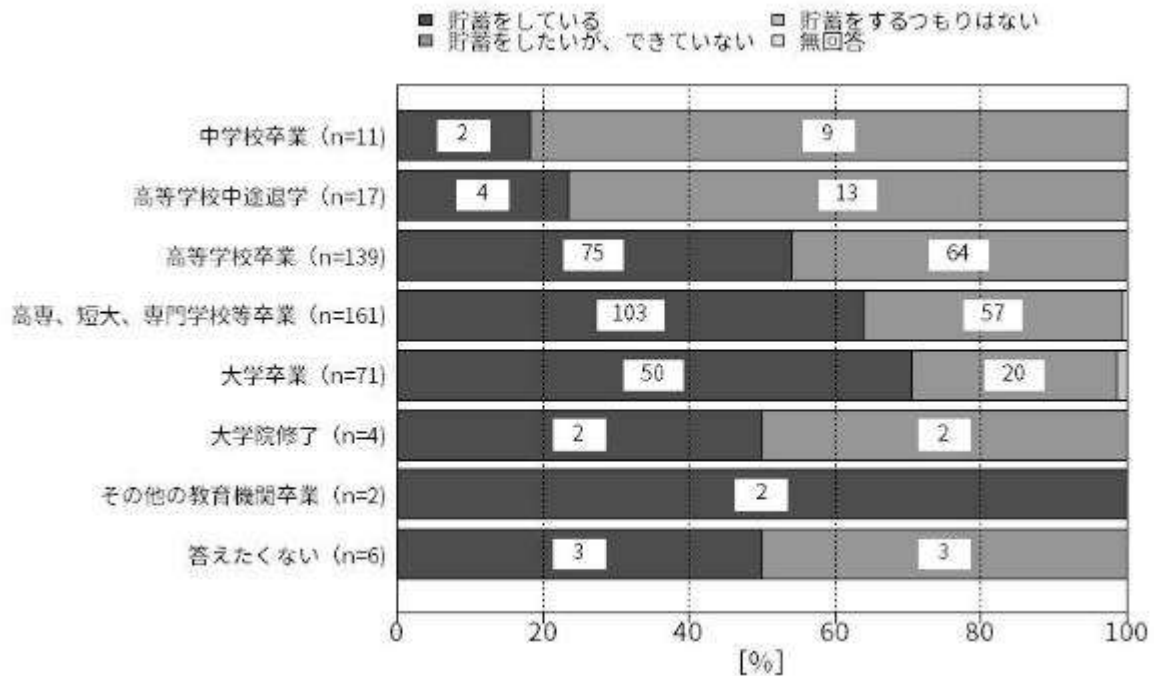
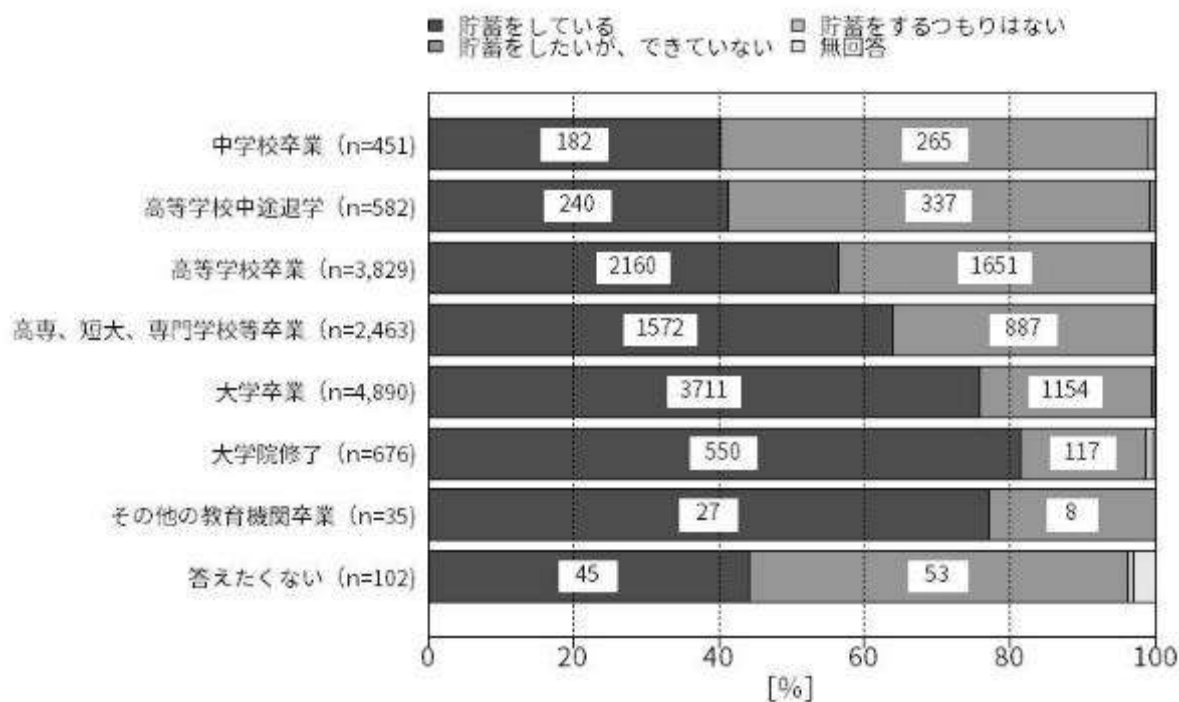


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものための貯蓄ができていない割合が多い傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができていない割合が高くなる。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

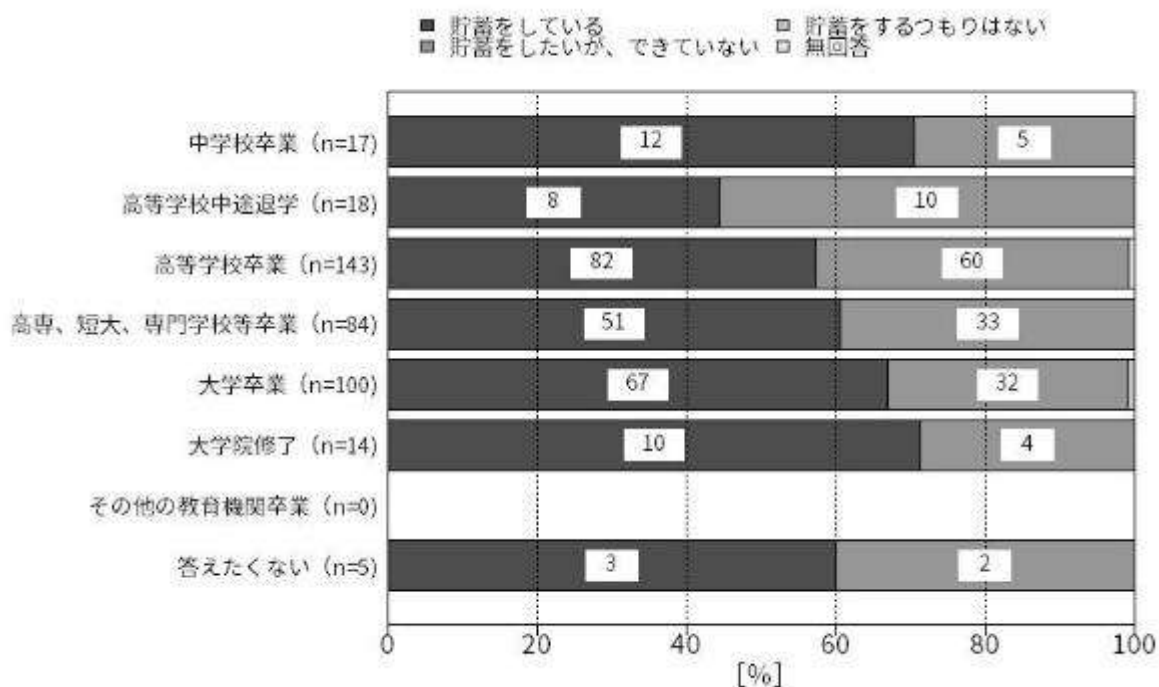


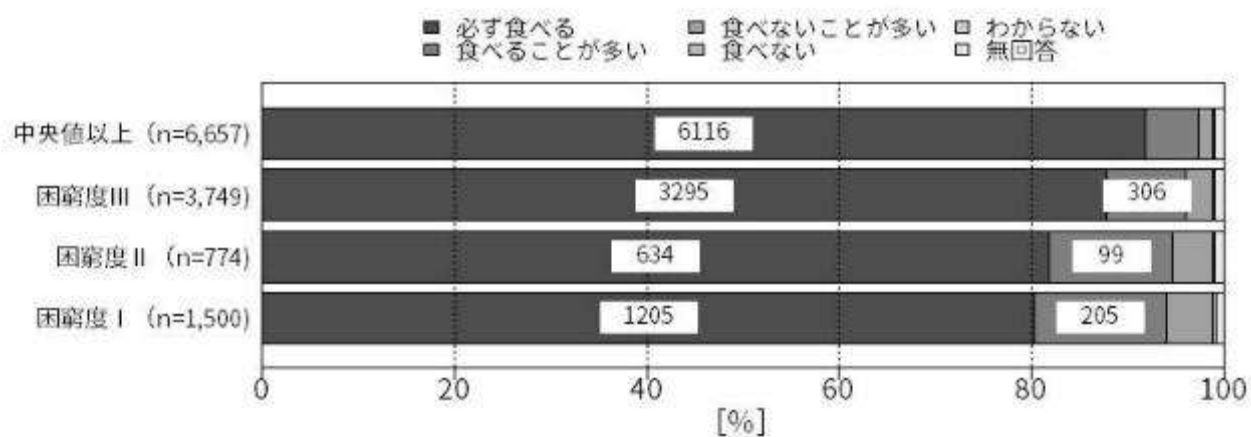
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

中学校卒業、高等学校中途退学では、子どものために貯蓄ができている割合が少ない傾向にあった。学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高くなる。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

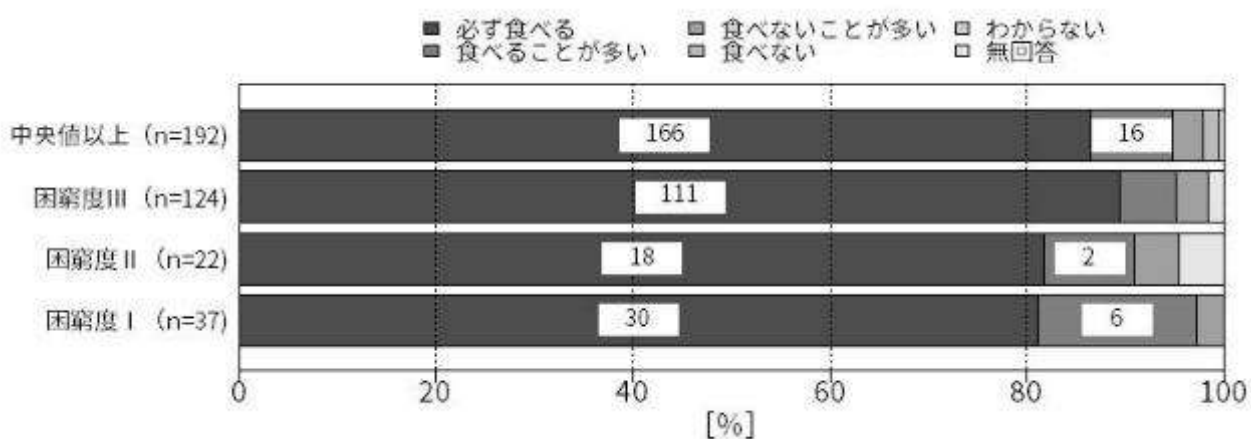
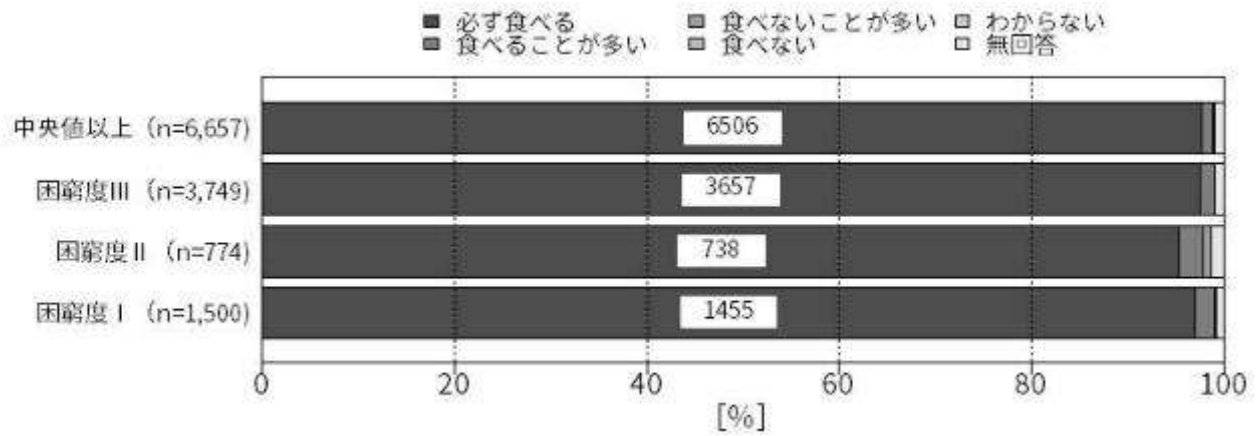


図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度が厳しくなるにしたがって、「必ず食べる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 81.1%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

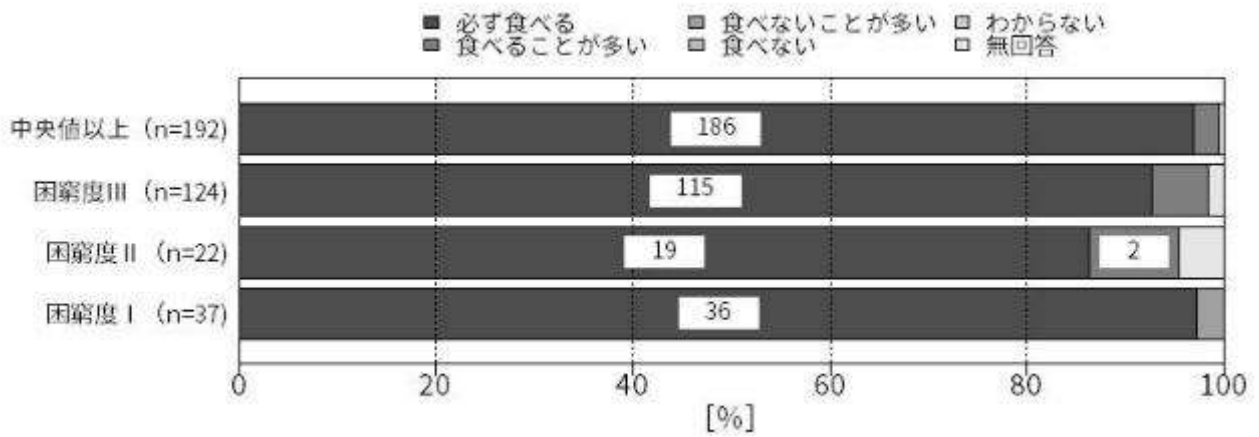
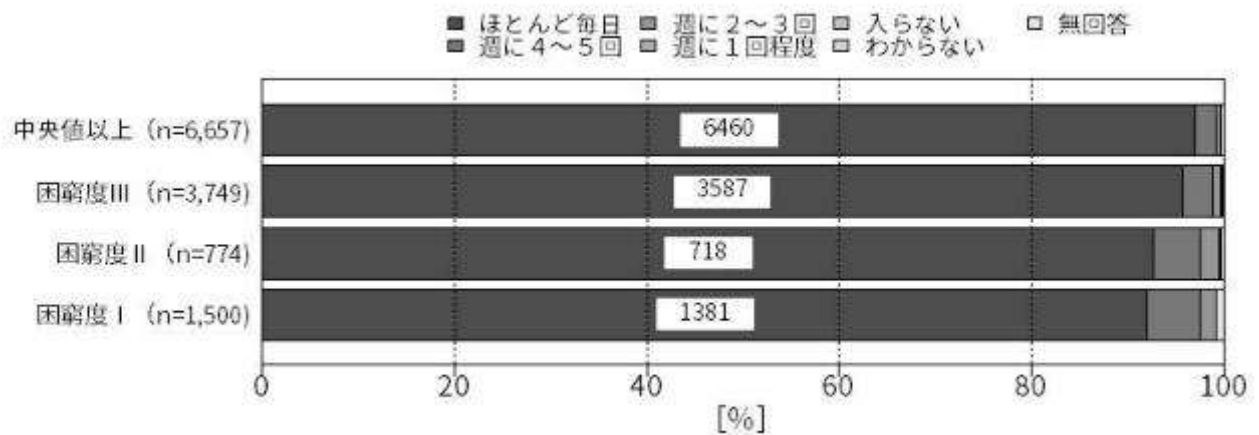


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度によって、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

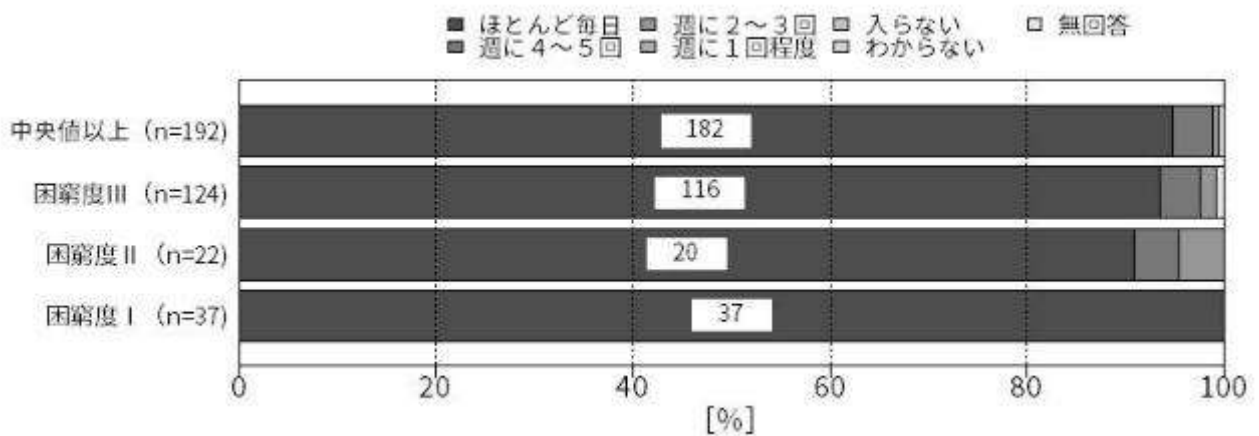
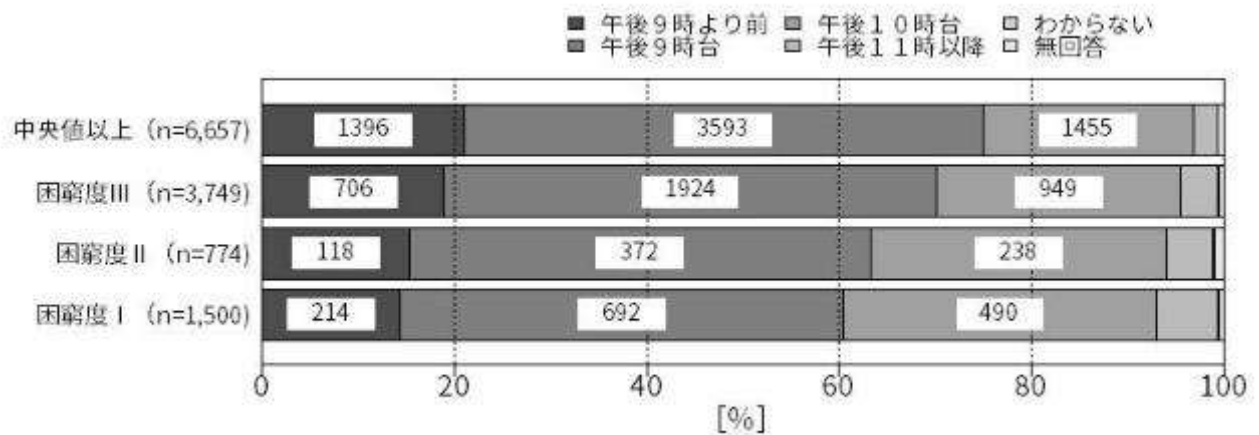


図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度Ⅰ群以外では、困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にある。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

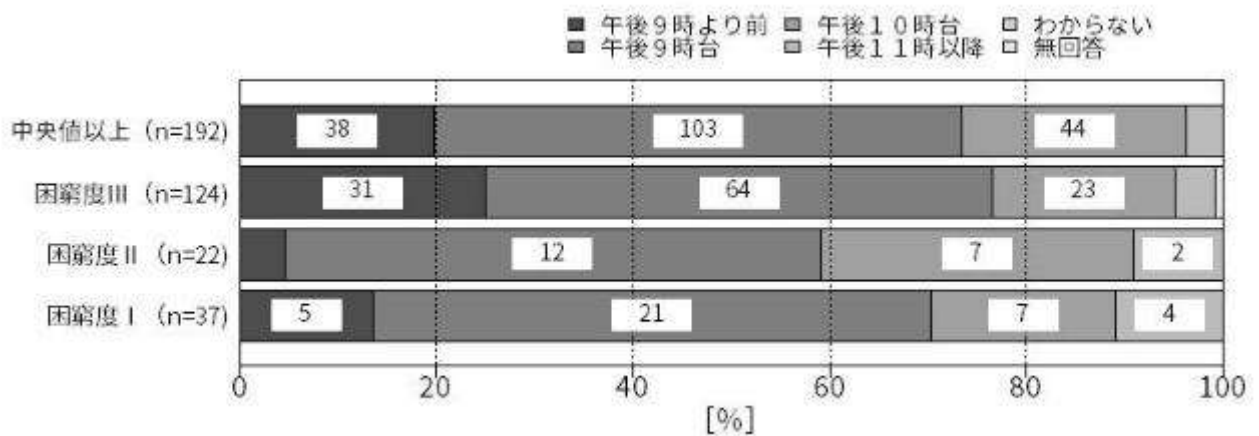
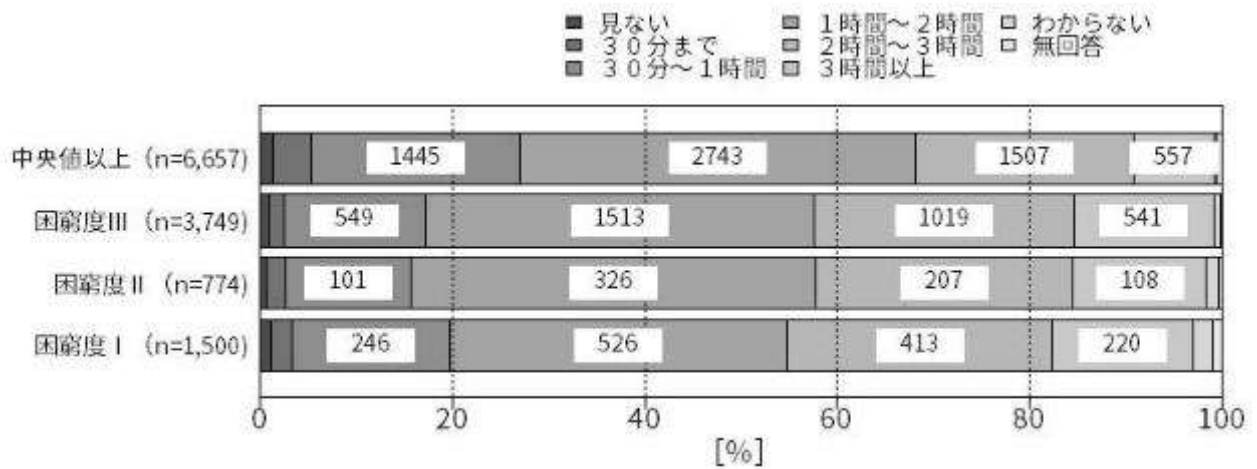


図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度Ⅰ群・困窮度Ⅱ群では9時より前に寝る子どもの割合が低い。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

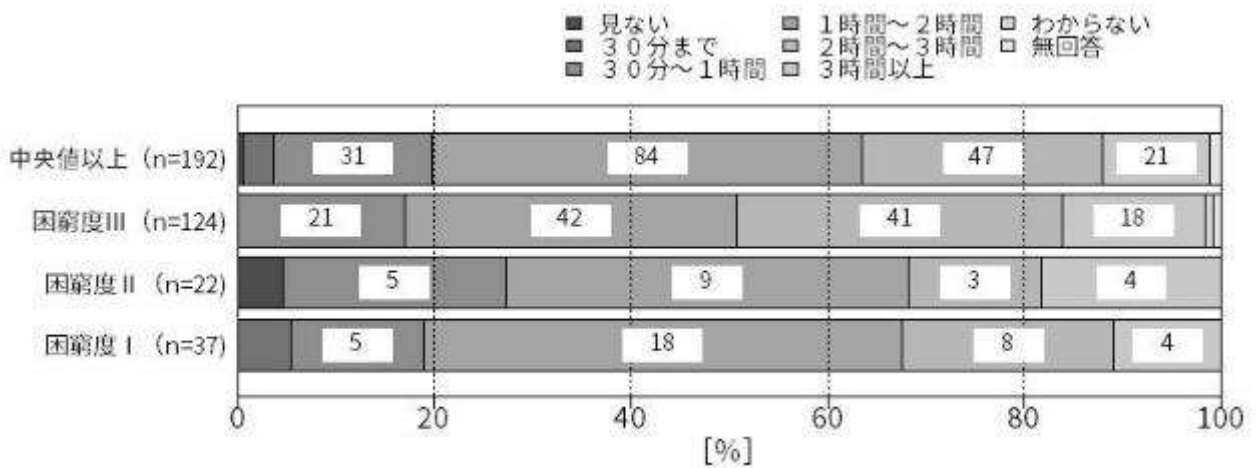
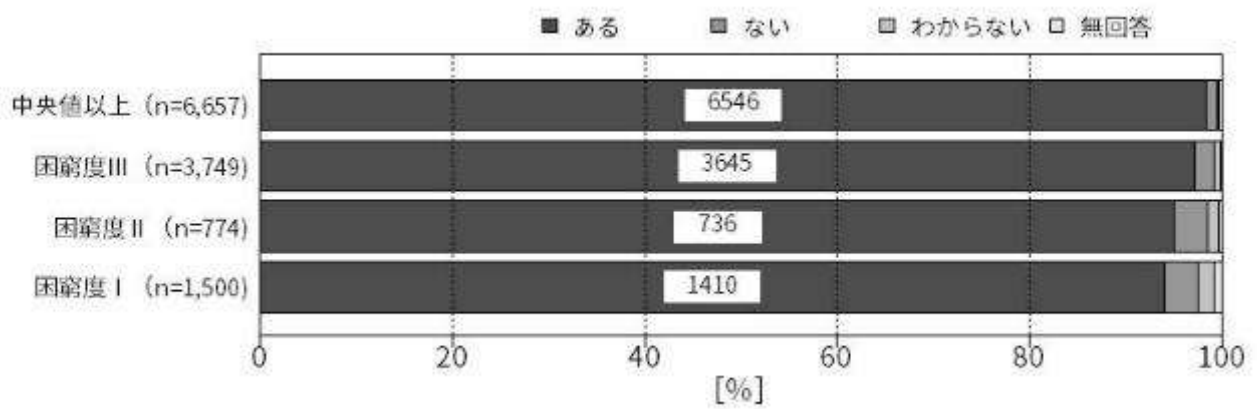


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度によって大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、歯磨きの習慣（問 25）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

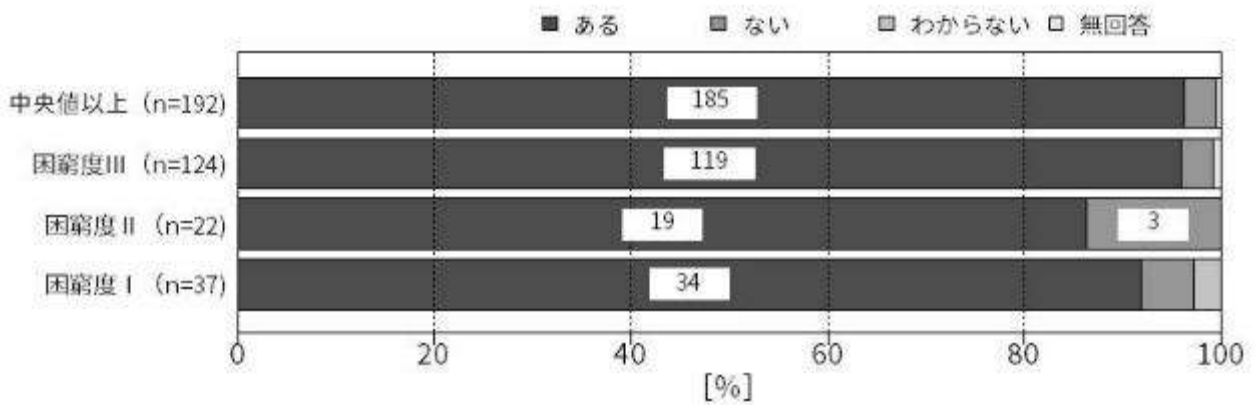
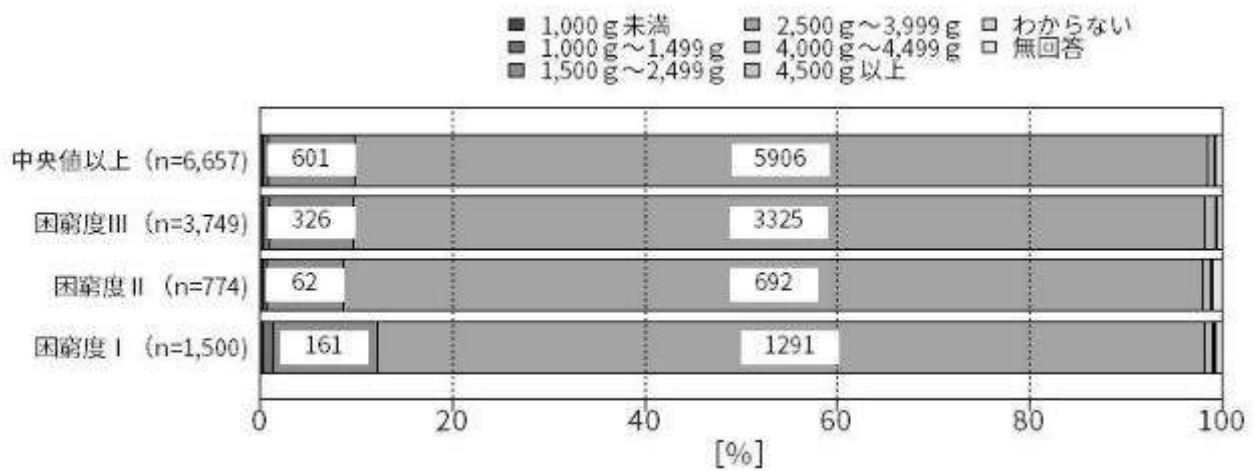


図 125. 困窮度別に見た、歯磨きの習慣

困窮度が厳しくなるにしたがって、歯磨きの習慣が「ある」の割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、出生時体重（問 11）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

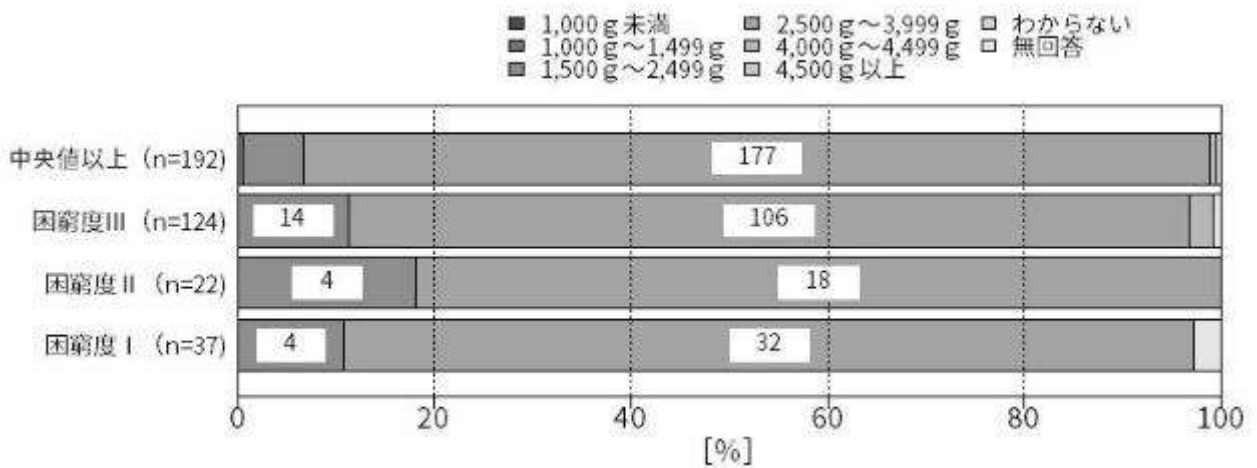
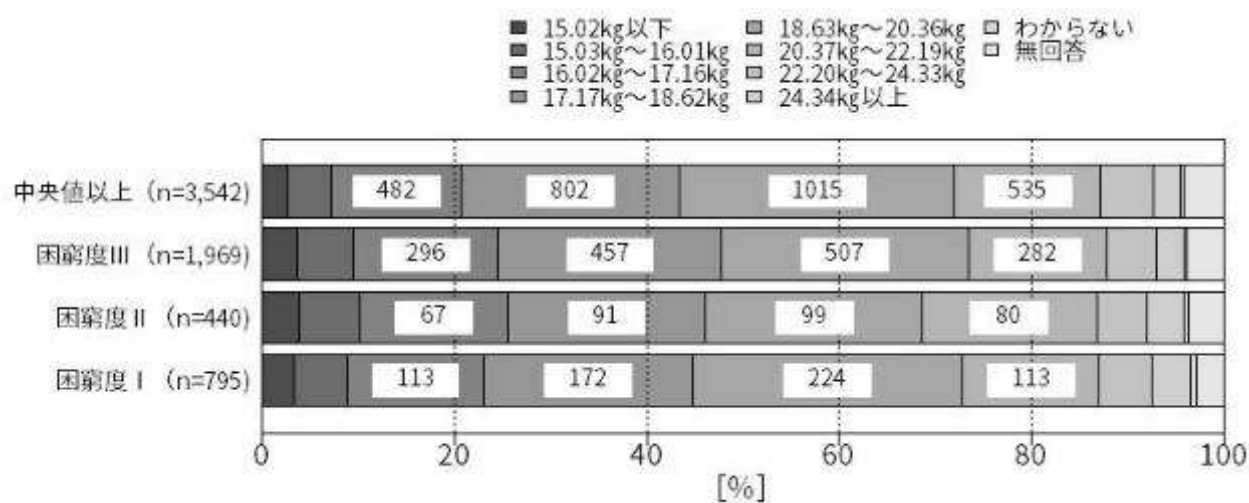


図 126. 困窮度別に見た、出生時体重

困窮度が厳しくなるにしたがって、出生時の体重が低くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群において「1,000 g ～ 1,499 g」「1,500 g ～ 2,499 g」と回答した割合は合計 10.8%であった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市此花区＞

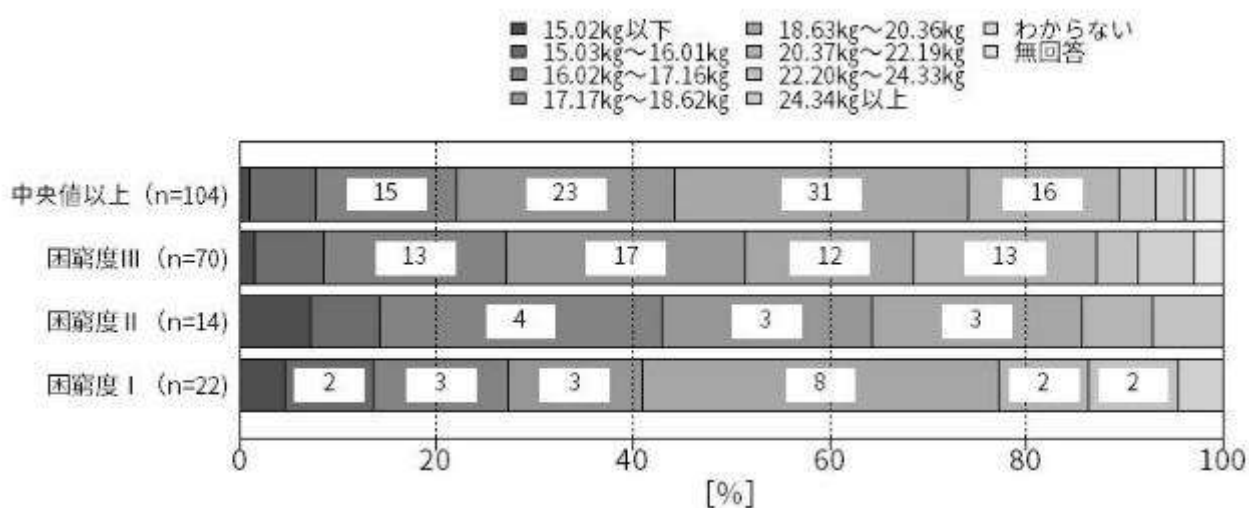
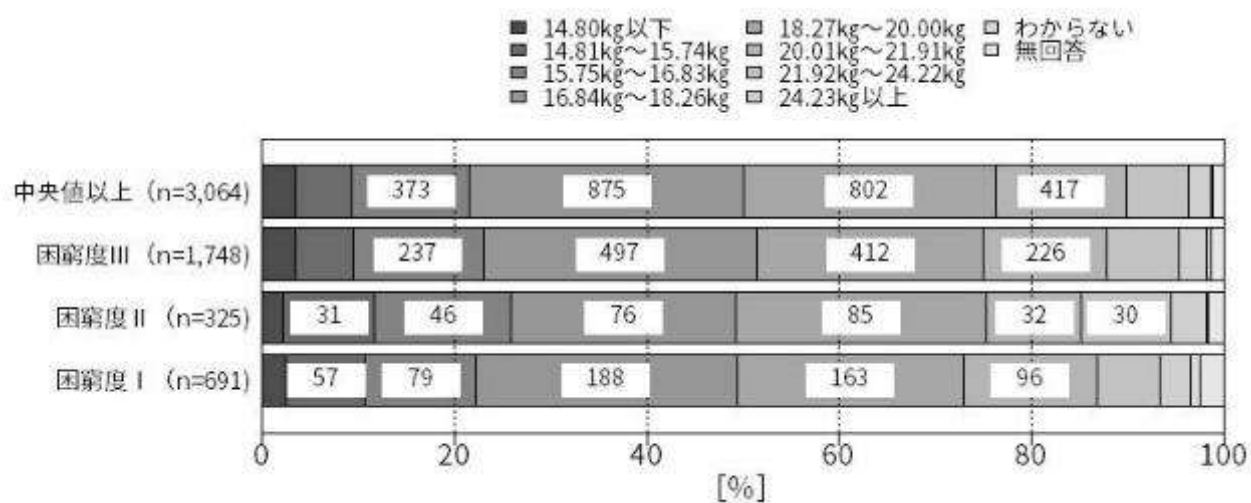


図 127. 困窮度別に見た、現在の体重＜男子＞

困窮度が高まるにつれて、現在の体重（男子）が低い割合が高かった。

困窮度別に見た、現在の体重（問 13-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市此花区＞

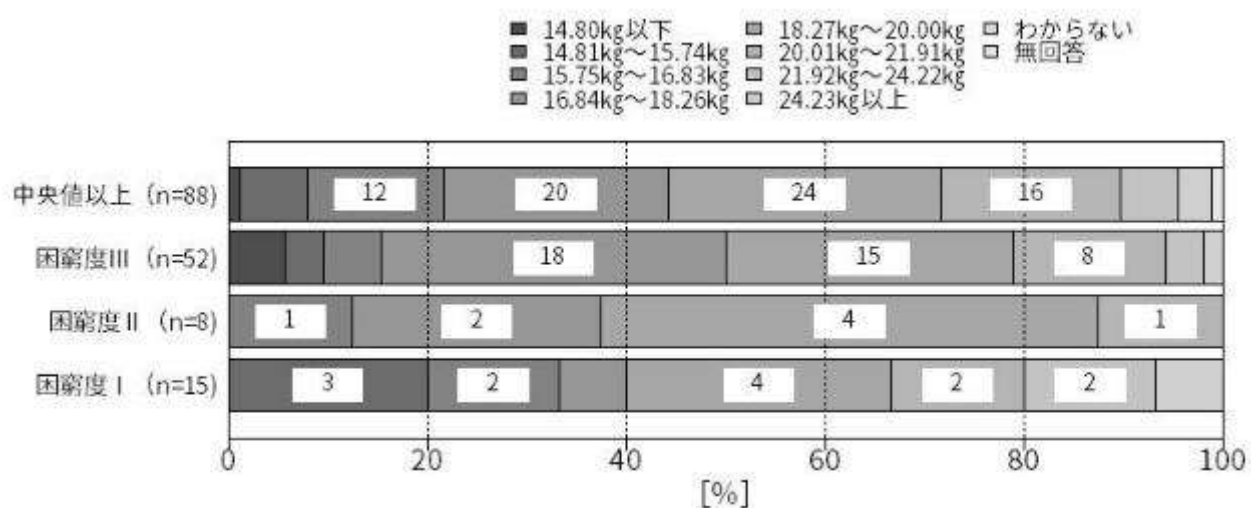
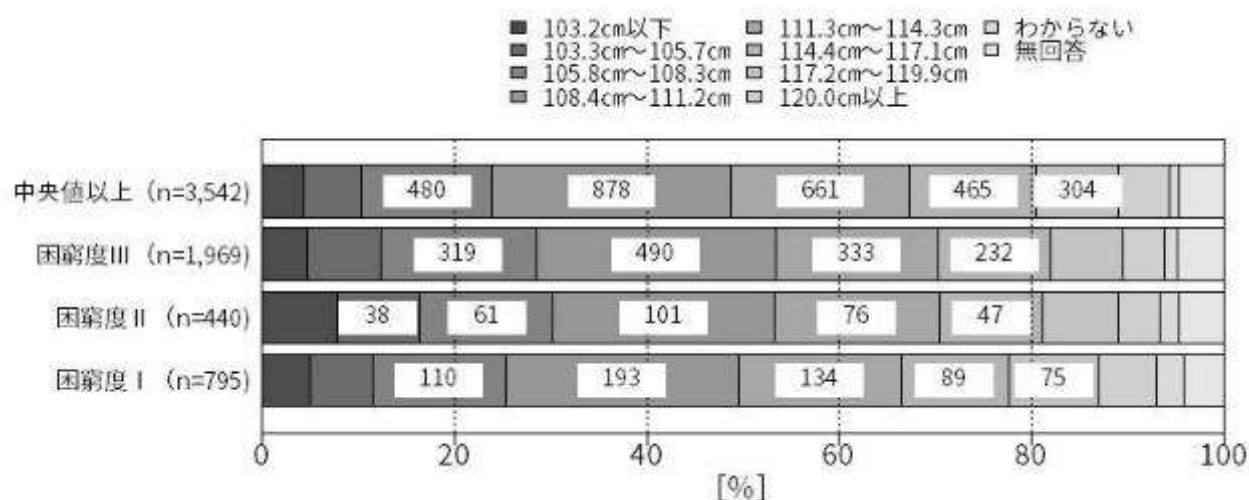


図 128. 困窮度別に見た、現在の体重＜女子＞

困窮度と現在の体重（女子）に関係は見られなかった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-1）＜男子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市此花区＞

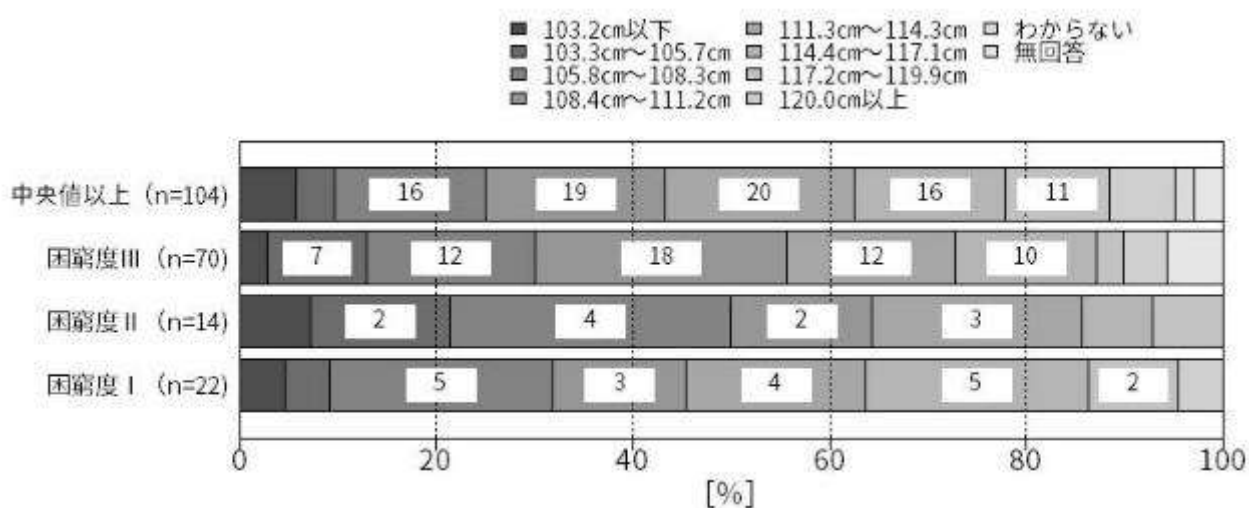
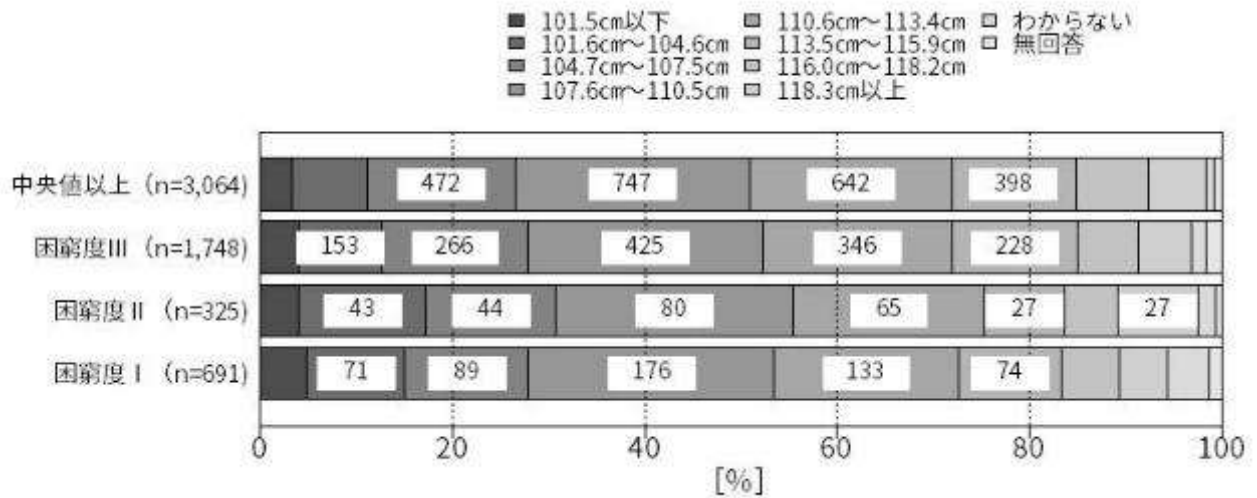


図 129. 困窮度別に見た、現在の身長＜男子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い男子の割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、現在の身長（問 14-2）＜女子＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市此花区＞

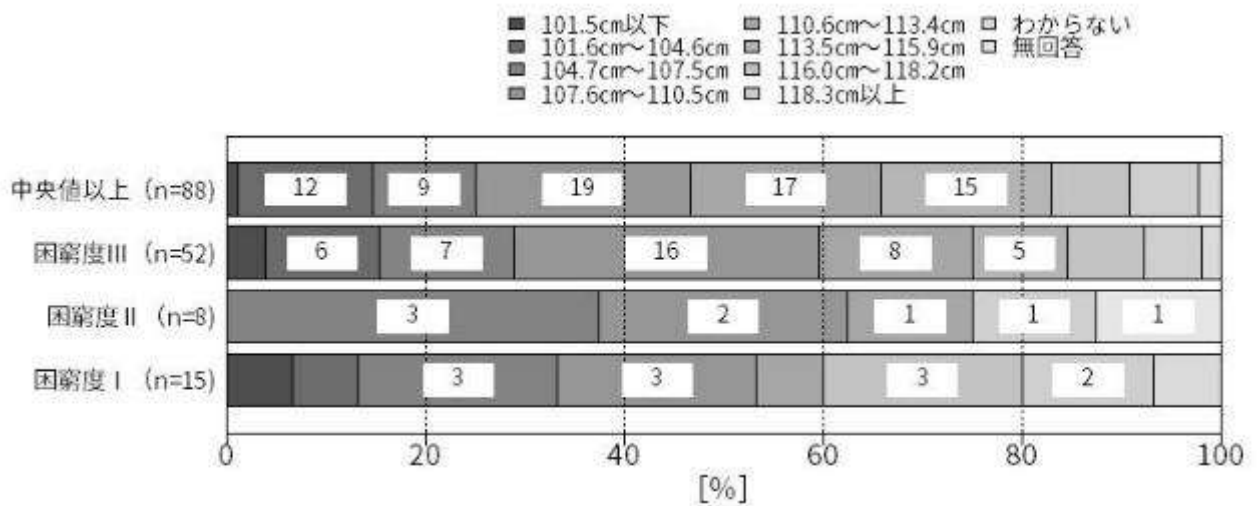
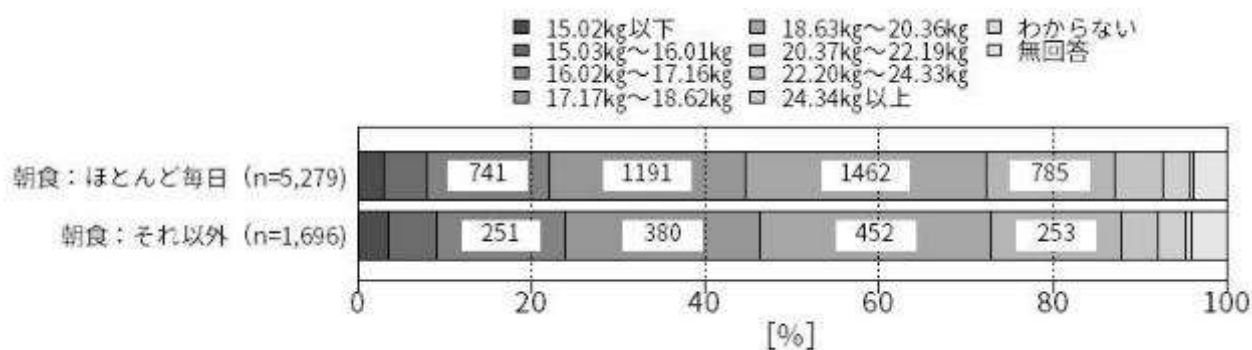


図 130. 困窮度別に見た、現在の身長＜女子＞

困窮度が厳しくなるにしたがって、現在の身長が低い女子の割合が高くなる傾向にあった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

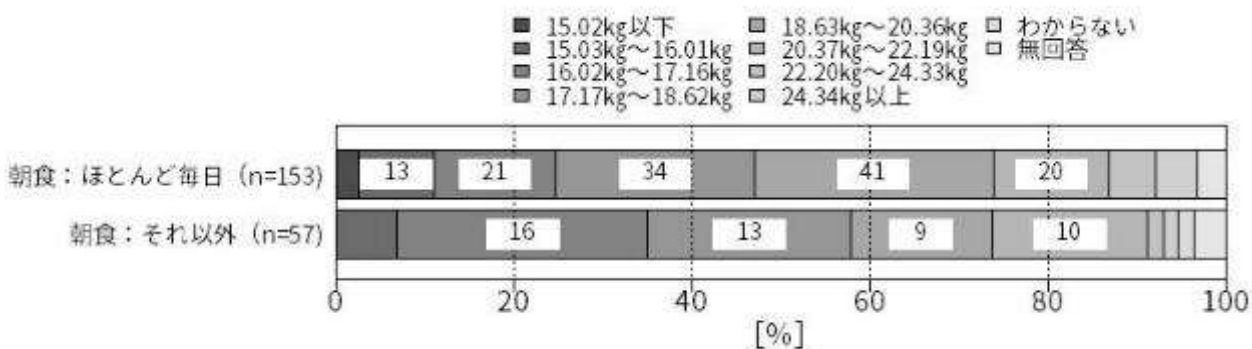
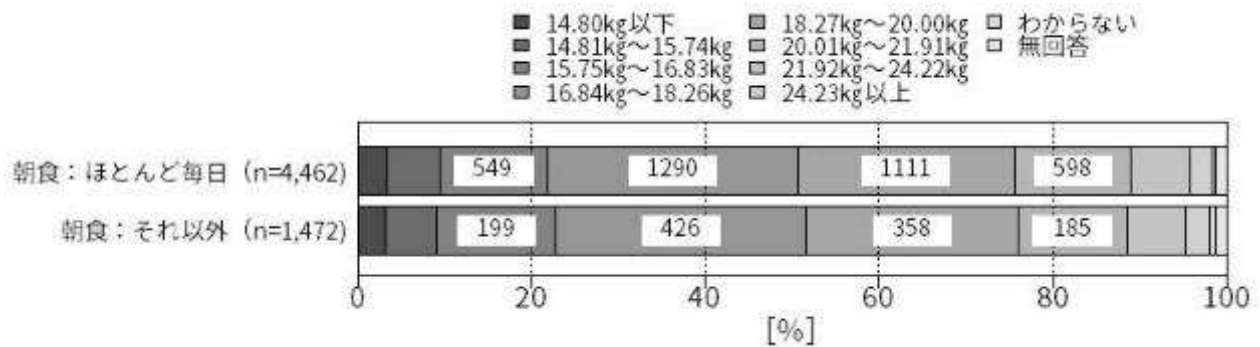


図 131. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって大きな差は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の体重（問 17×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

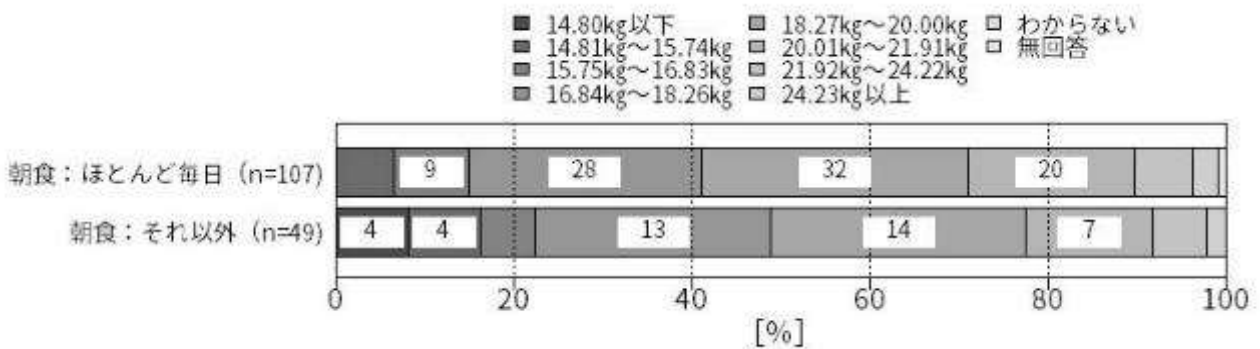
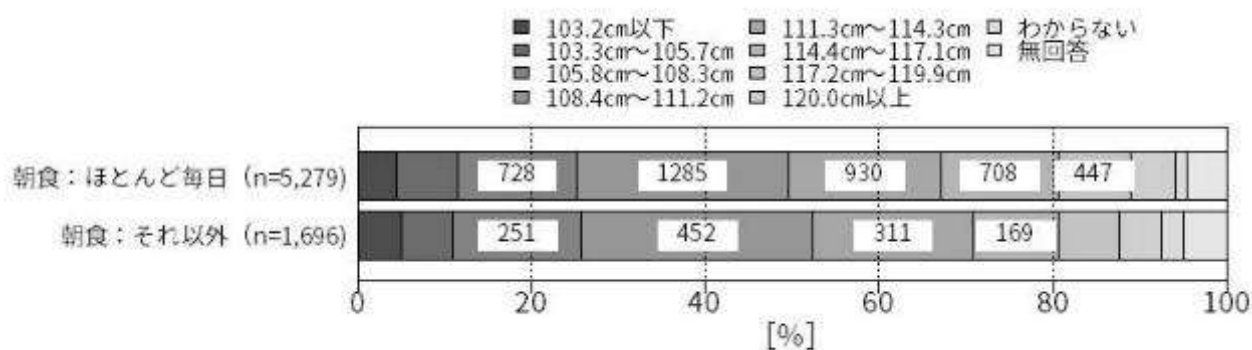


図 132. 朝食の頻度別に見た、現在の体重

朝食の頻度によって大きな差は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

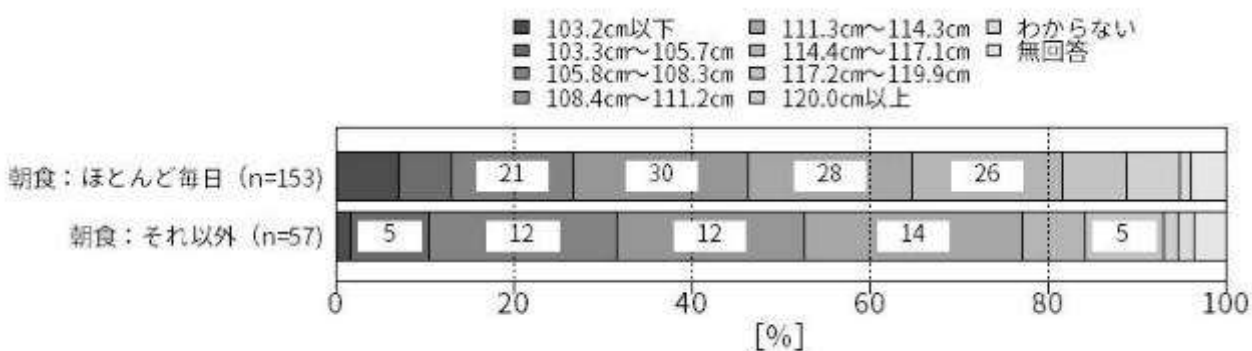
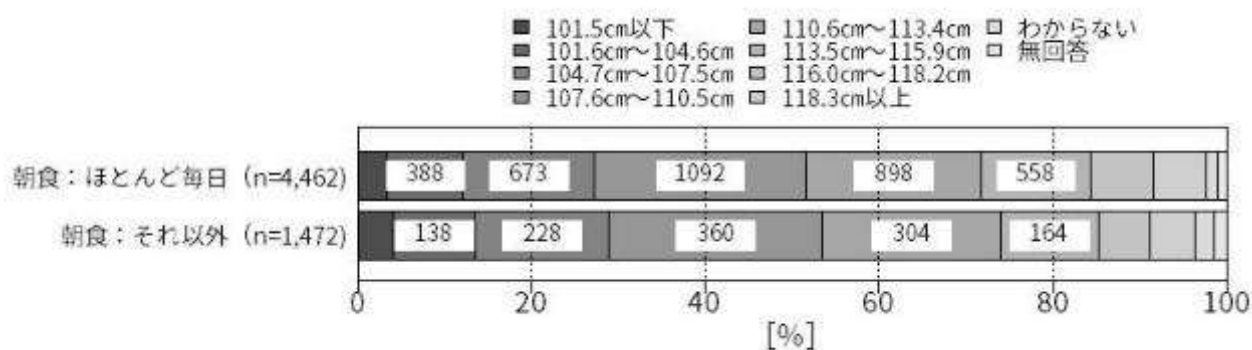


図 133. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と男子の身長に関係は見られなかった。

朝食の頻度別に見た、現在の身長（問 17×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

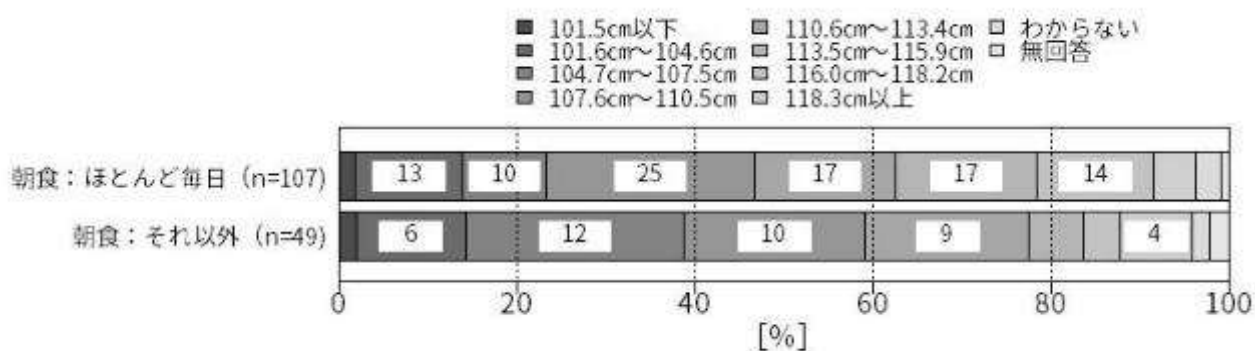
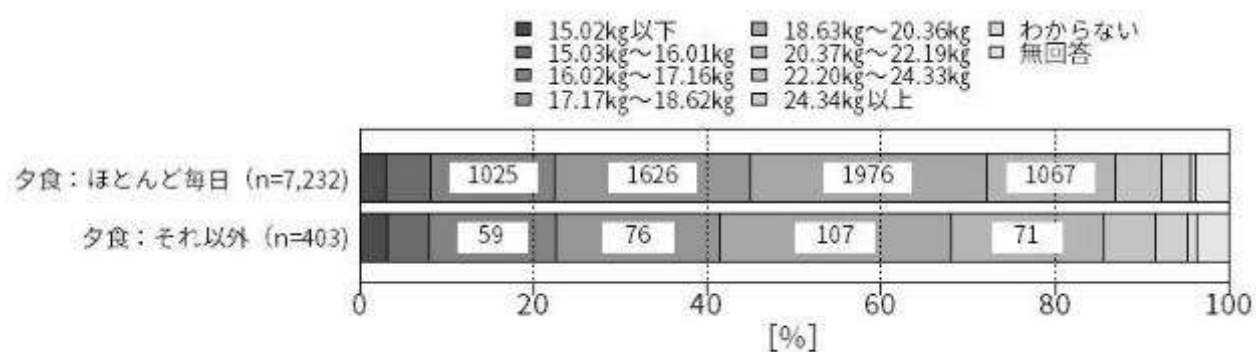


図 134. 朝食の頻度別に見た、現在の身長

朝食の頻度と女子の身長に関係は見られなかった。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

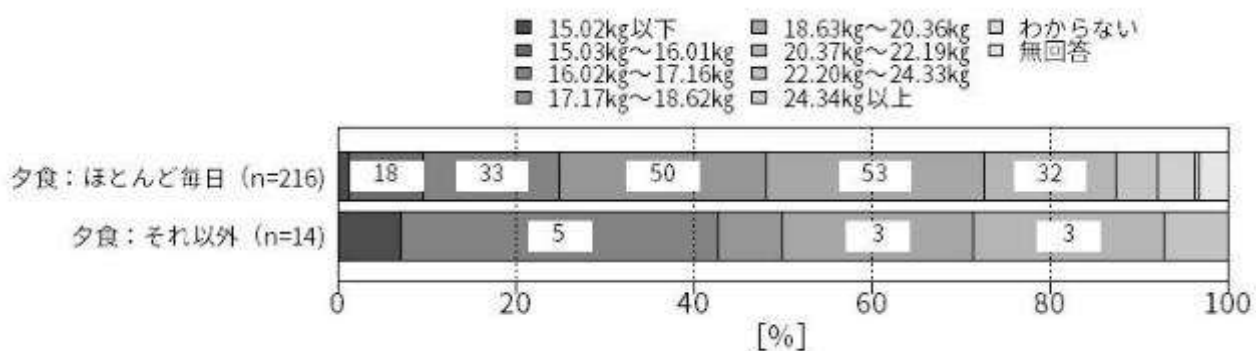
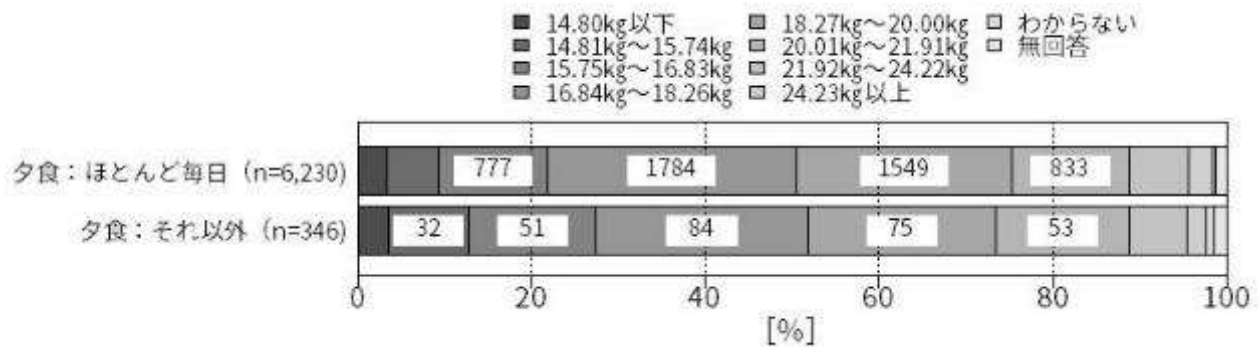


図 135. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない男子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

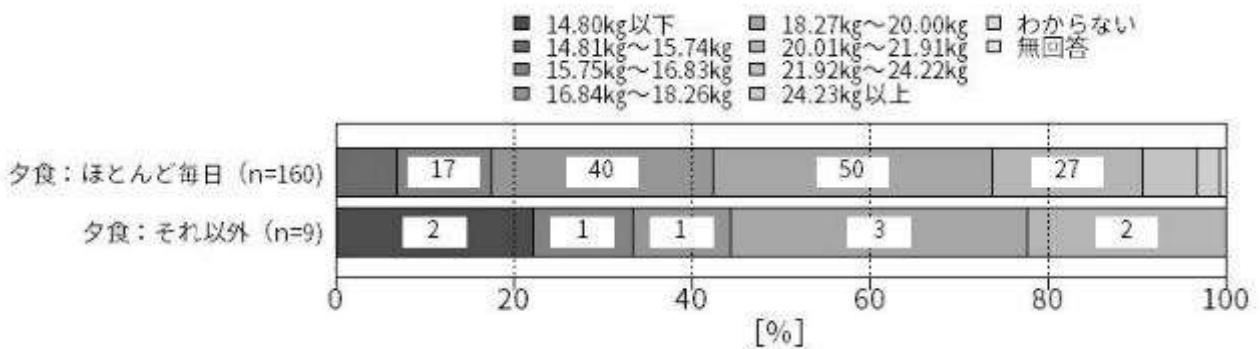
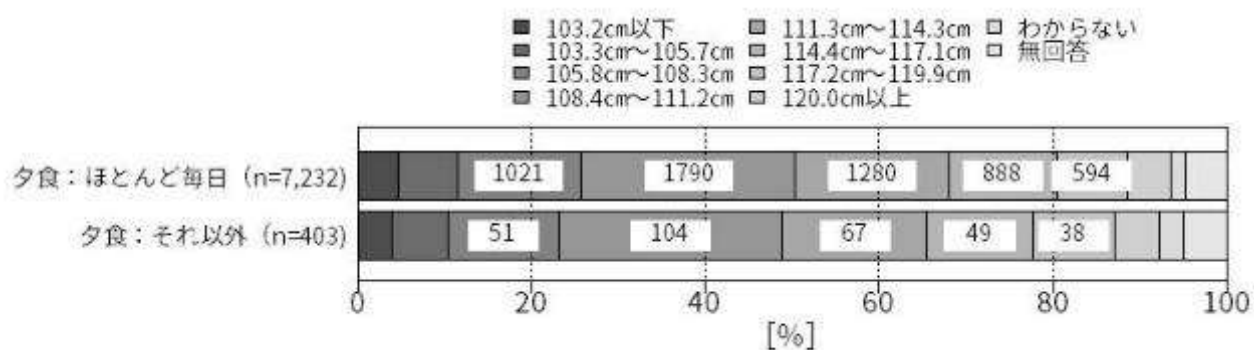


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない女子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

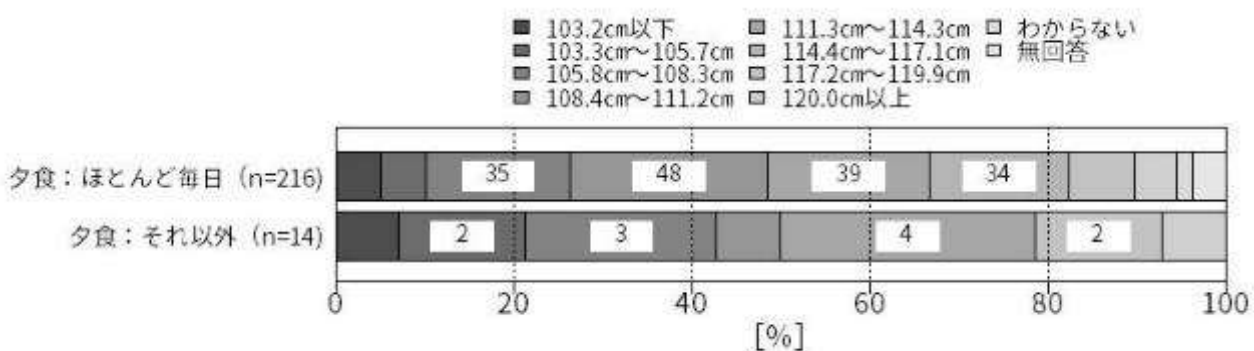
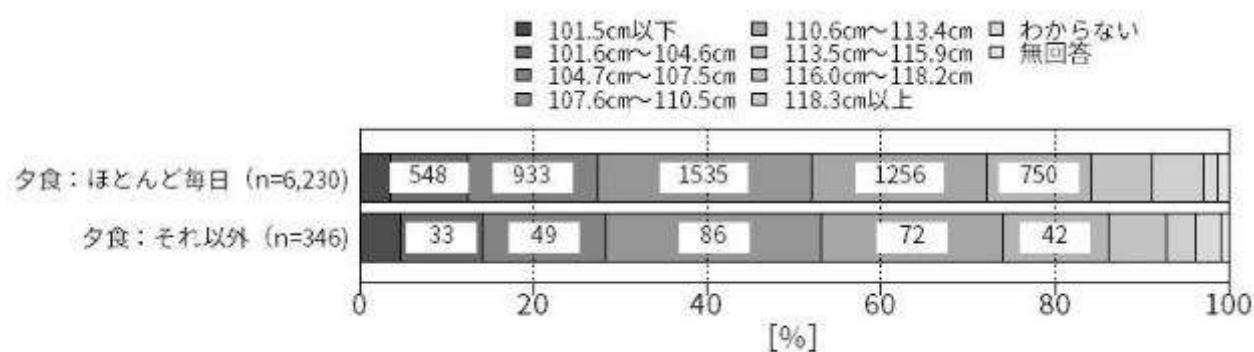


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない男子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

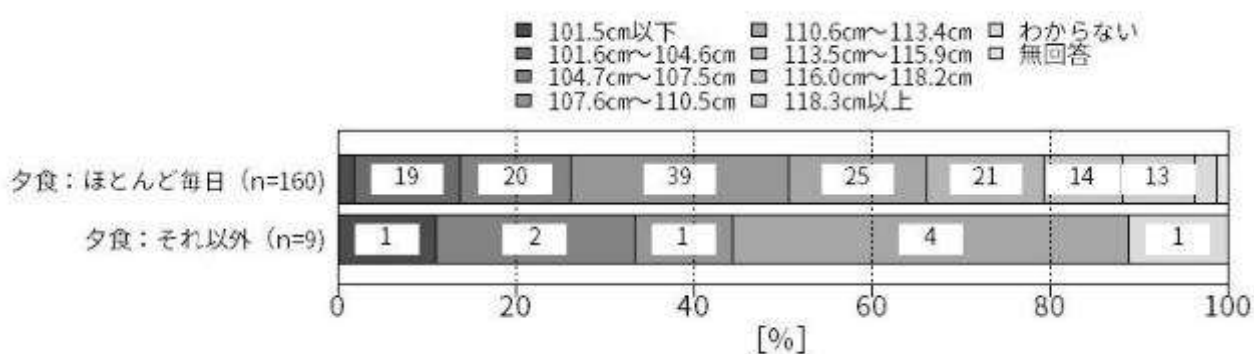
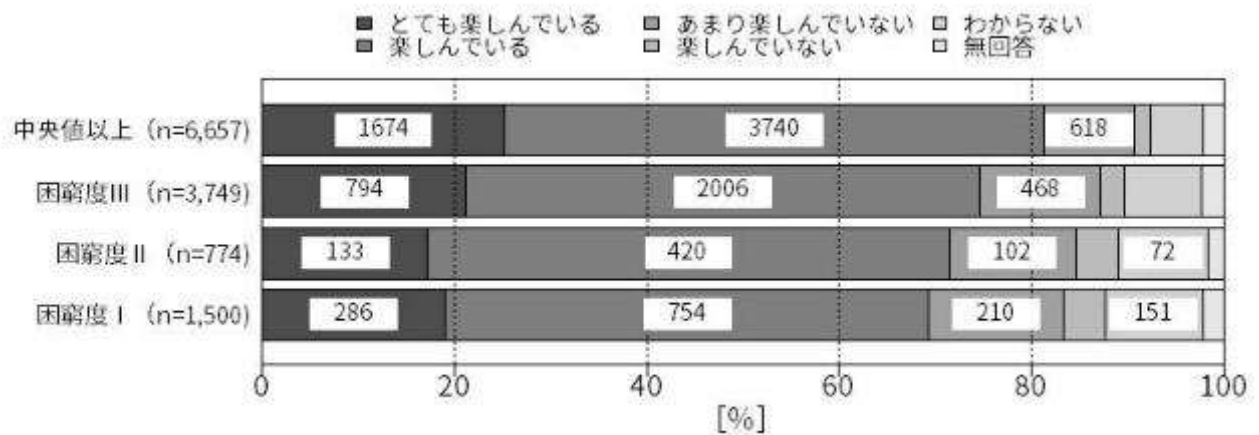


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない男子は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

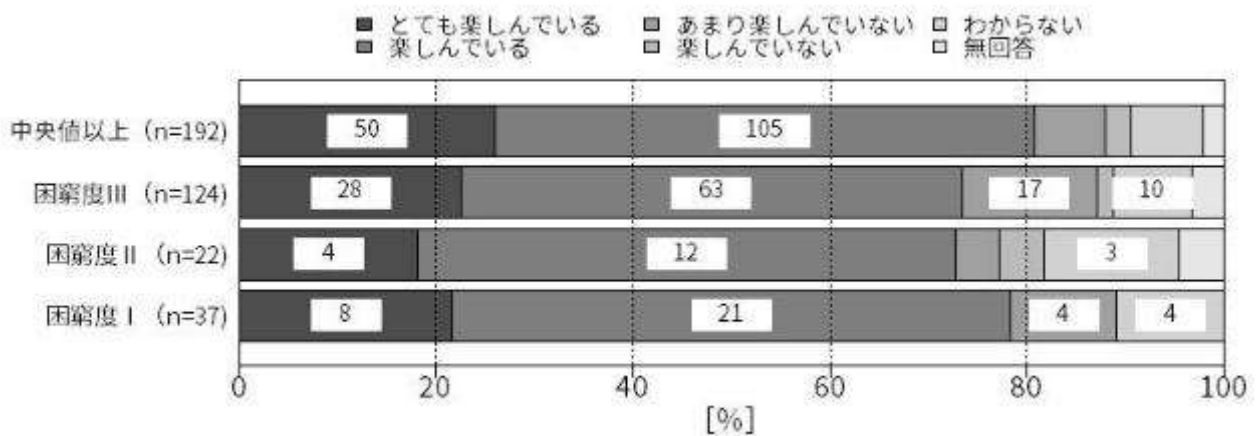
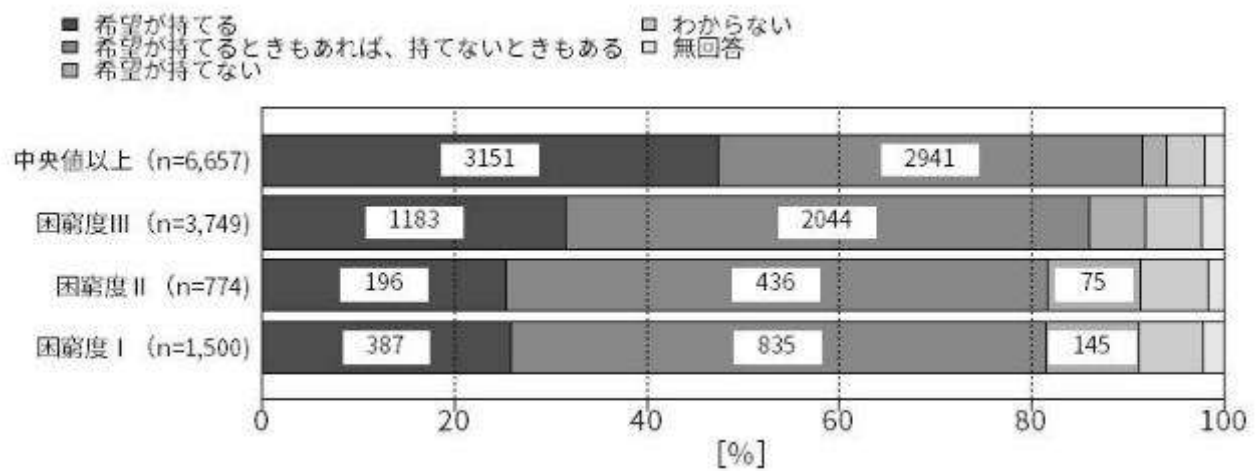


図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

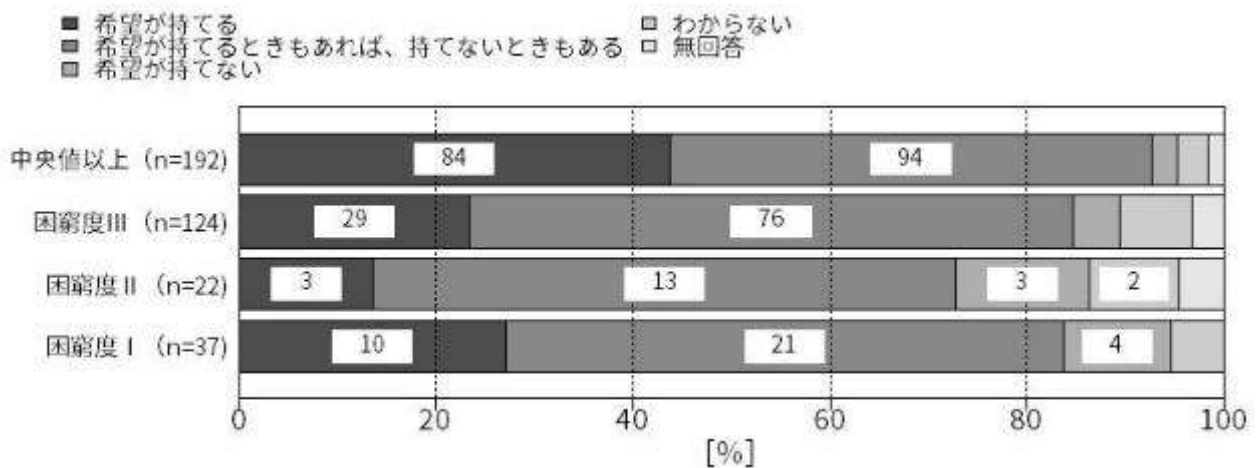
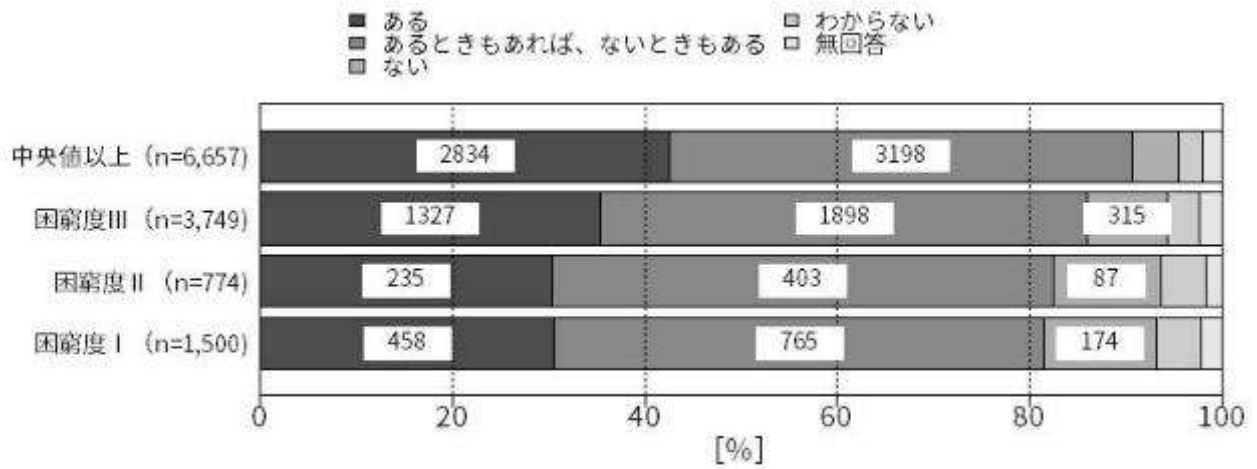


図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てる」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 27.0%であった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

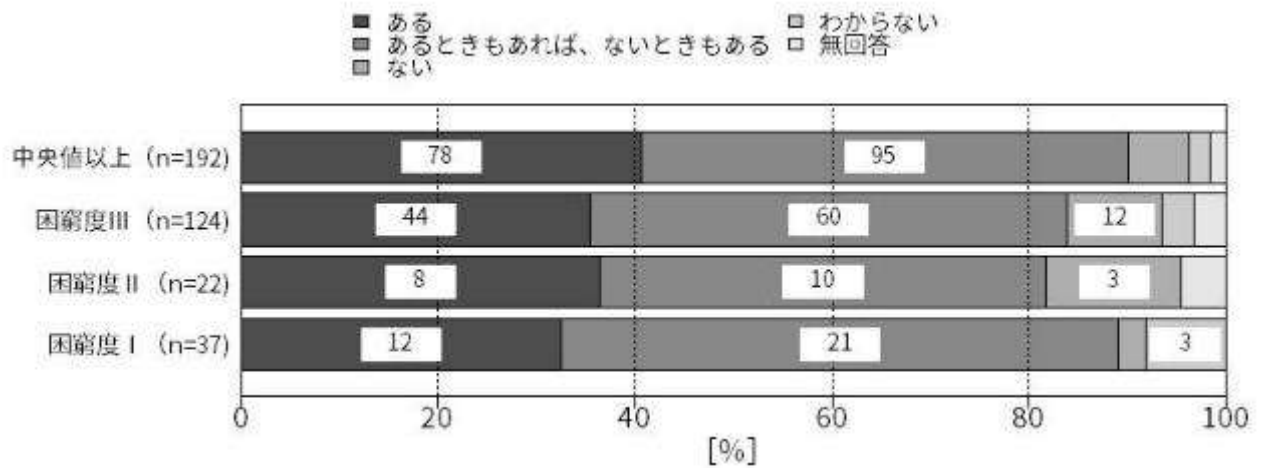
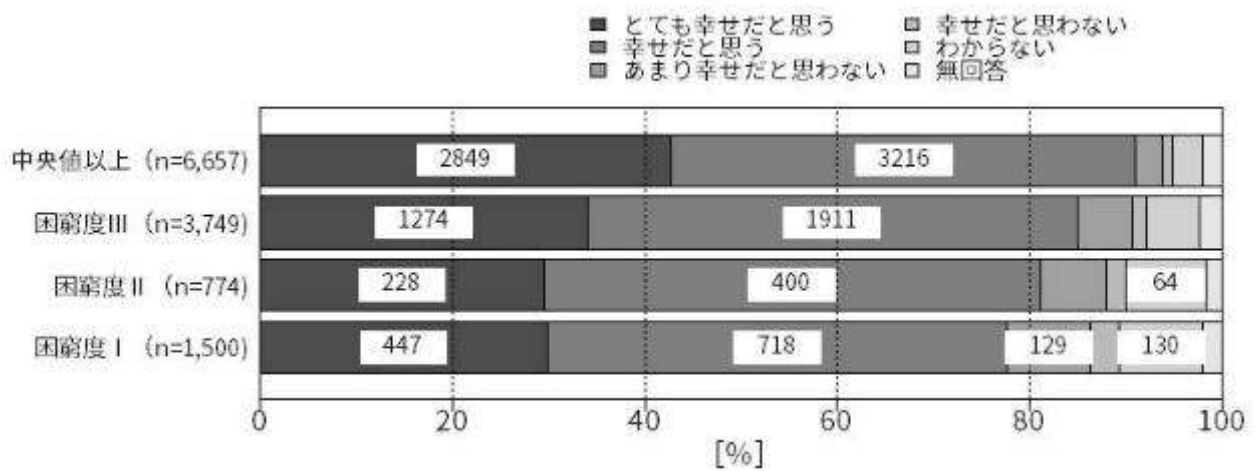


図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度が厳しくなるにしたがって、ストレス発散できるものが「ない」と回答した割合が高くなり、「ある」と回答した割合が低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

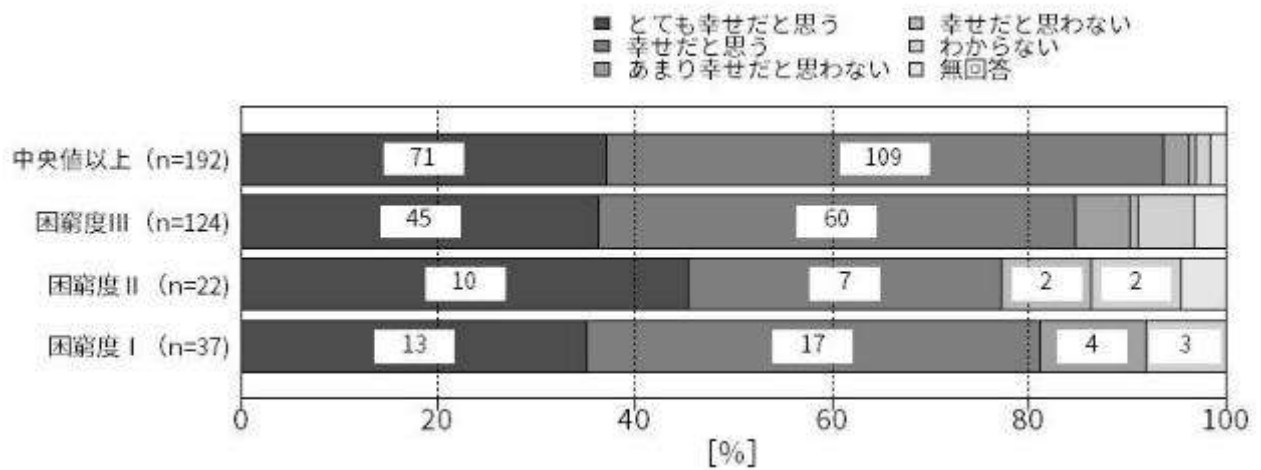


図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」の割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 35.1%であった。